

**北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料**

2015年11月29日 謁見収録

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

メンバー：

店が寒かったから。ちょうどいいです。

北野会長：

あこも寒かった。ハヤシも。

メンバー：

ハヤシのあとに隣のカフェ行って・・・

北野会長：

8時で帰っちゃうんですね。

メンバー：

済みません。ちょっと。

(店員が来る)

北野会長：

何かマスターが特盛を。

真田 孔明：

特別な肉があるとか何とか。日本からので。

北野会長：

それを人数分だけとりあえず先に作って。

メンバー：

会長、まずビールでよろしかったですか？

北野会長：

みんな任せて。孔明さん頼んで。

(店員にオーダーする)

北野会長：

ご苦労さんでした。

(席替えする)

北野会長：

これだったら全部、見えていいやないかいね。

真田 孔明：

JBで焼肉屋いいですよ。

メンバー：

めずらしいのですか？

真田 孔明：

韓国系もあるんですよ。でも、こっちのほうが日本風の味なので。日本でやられている方が・ ・

北野会長：

昔、ボーイをやったから。ウソけど。笑 そうやって言ったら、注ぎ上手みたいな感じせん？。こっちに置いておいた。

真田 孔明：

ここオープンスペースでいいですよ。南国風の焼肉。

北野会長：

南国だて、おっかさんって、行かんといかん。

メンバー：

じんわり焼けますね。

北野会長：

たくさん入ってくるやないかい。バンバンと。

真田 孔明：

この周り、ひったくりが多いのでね。気をつけないと。さっき、後ろから隙だらけでしたよ。あれ。僕バイクだったら行けましたね 笑 壁の外を歩いていたので。

北野会長：

リング束にして持って歩けばどう？高に見せて 笑

メンバー：

孔明さんもやられたことあるの？

真田 孔明：

ありますね。4人組に・・・無傷です。

北野会長：

やられたの？

真田 孔明：

バックを1個持って行かれちゃいました。1個取り返しましたけど。でも取り返したらいけない
なと思って・・・無傷でしたけどね。

メンバー：

へ～

真田 孔明：

でも、あれはね、兆しなんですよ。投資を引けっていうことだったんですね。危ない案件から
引けっていうことだったんです・・・全部。なんでかっていうと、あの前後って立て続けに、財
布とかが、あちこちで盗まれるんですよ。シンガポール、クアラルンプール、パソコンごと。

メンバー：

パソコンを盗まれていたね。

真田 孔明：

パソコンと財布がセットで盗まれちゃった。でね、あれは投資を全部、引けっていうことだっ
たんです。ご先祖様の兆しで 笑 最後にそれでも引かないから盗んで、盗んで、最後に盗賊
が・・・だから無傷。

メンバー：

あくまでも警告なんですね。

真田 孔明：

警告なんです。今、考えれば。ああいうのって。ああいうの重要ですよ・・・ちゃんとね。

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

あのとき体重が100キロオーバーだったので、何も考えられないです。頭がもうスローになっ
ちゃって。

北野会長：

うまいね。ジョホールバルでこれだけの肉ならおいしい。「お嬢さん、ビールを持って来て」
いいよ。あんた飲まれよ。（メンバーに）

真田 孔明：

フラフラっと3〜4本が入っているような感じで補充しておいてください。（店員さんに）飲む
んで・・・笑

北野会長：

横にリングも置いておいてくださいとか。はい、わかりましたとか気持ちいいやろうね。笑
でも、金買いしとったら、人生終わっていくがやよ。5万円ずつ孔明さんが貯めたら2,000万
に何歳まで？

真田 孔明：

25歳から5万円、毎月、貯めて59歳に・・・2,000万円。ようやく・・・5万円の貯金って大変で
すよね。結構ね。

メンバー：

大変ですよ。

真田 孔明：

サラリーマンでね、無理ですよ。

メンバー：

5万は無理ですね。大金ですよ。

北野会長：

60・・・ホントやね。 $3 \times 6 = 18$ 。

真田 孔明：

恐ろしい計算ですよ。これ。地獄のような。

北野会長：

あんたの計算、あれ書いたの見たやろ。こんな、ひどい話、ようなるんかな？だと思ったけ
ど。

真田 孔明：

25歳からですからね。しかも25歳から30歳なんて、貯金ゼロじゃないですか？

北野会長：

お金に焦ったら駄目、絶対に負けやから。

メンバー：

今日は虫がいっぱい貼ってきますね。

真田 孔明：

バーベキューだと思えばね、

北野会長：

オープンの。

メンバー：

それも一興という。

メンバー：

孔明さん、日本居住者じゃないと融資はダメ？

真田 孔明：

もちろん。融資という融資は日本居住者だけです、銀行がもう。株主も駄目です。株主に入っている会社は、銀行に確認したんですけど、幹部に。みずほの一件の前まではよかったんですよ。みずほの一件以来、海外の法人、個人が入っているやつはややこしい会社として見られちゃうので。やくざの恐れがあると見なされちゃうのです。みずほの一件以来。それは幹部の人に確認しているので、銀行の。

北野会長：

もう一本抜いといてくれる？（店員さんに）皆さんに、はい、どうぞ。僕は酒が飲めないので、注ぐだけですわ。笑 これでもね、ビールを飲んどったほうが絶対にまたいいよね、腹にくるから。ワインを飲んで、ダラダラダラダラ飲んでむとさ・・・この間、最初はカリフォルニアワイン、次にオーストラリア、アフリカワイン、順番に、俺は上から順番に出してくれって言うた。「赤は全部、飲み終わりましたから、次は何かいいですか？」ってリクエストして。じゃあ今度、白をくれとアホだわ。毎日、あんなたくさん酒を買ってくる、昨日も3時まで飲んだ、全然信じられない。笑 今日から仏門の世界に入ってやな、ケン休戦といかんかなと・・・言うとりだけで。何の実行もない。無農薬野菜を香港人に食べてもらわんといかんでしょ無農薬。そういうのをね。誰やったっけ。麻生さん、もうやっとりやて。上海向けか何かに早い船に乗せて、今、九州全体のものを、野菜をそこへ集めて、何か出荷するんやと。もうやっとりみたいよ。

真田 孔明：

よく香港でも、くまモングッズと共に、九州フェアやってますね。

北野会長：

本当？

真田 孔明：

だから、日本の野菜がそのまま食べられますよ、香港もシンガポールも。

メンバー：

シンガポールもやってるんですか？

真田 孔明：

シンガポールもそうです。日本の野菜。

メンバー：

本当に中国の金持ちは、日本の高い食材が大好き。いいものを毎年、ものすごい値段で・・

真田 孔明：

うちの贅沢っていうのは、嫁さんがシンガポールに行って日本の食材を米と野菜をいくつか・・海外でも美味しいのは・・ジャガイモとかね。普通に、現地の人も買っているんですよ。

メンバー：

でも、日本で買うよりは全然、高いんですよね？

真田 孔明：

もちろん、もちろん。日本のほうが安いですよ。何でも売っているから、納豆から何から。

北野会長：

でも、売れるものでないとあかねでね、彼は洋服屋って言わんだ？

メンバー：

僕は、洋服屋です。

北野会長：

洋服ね。洋服を製造して自分のブランドで売っているの？

メンバー：

正確に言うと、中国でつくっているほぼできているものを自分のブランドのタグをつけてやっています。

真田 孔明：

仕入れは上海とか。

メンバー：

仕入れはパオパオアリババです。

サッチェル：

支払はどうしてる？

メンバー：

日本円です。代行会社を頼んでいるんですけど、日本円で。

メンバー：

代行会社が日本円で受けて、元に変えて。

メンバー：

そうですね。元に変えて、向うで買ってもらって・・・

北野会長：

キムチあげて。（メンバーに）彼のソーラーパネルっていうのはかなりの電気を発電しているの？

メンバー：

そうですね。区画がいくつかあって、月に波はあるんですけど、25から41ぐらいの間で発電するのがあって。

北野会長：

でも、あんたみたいに余裕のある話は俺、初めて聞いたね、余裕がある人。融資を引っ張ってずっと寝かしとると。自分も寝てるんじゃないの？そうでないの？

真田 孔明：

でも、あともう1個すごいのが、家を一軒家をAirbnbで貸していて、多い月は70万だか入ってくる、多い月。

メンバー：

70万ですか。

メンバー：

何県ですか？

メンバー：

大阪です。

メンバー：

観光客が多いですね。

メンバー：

そうですね。難波や新大阪というのは、宿泊客がよく泊まる場所なのですが、そこには、一軒家あまりないので、私のところは、難波から少し離れているんですけど、一軒家だと10人以上、泊まれたりするのです。

メンバー：

海外の人が？

メンバー：

最近は日本人も増えてます。利用者が増えています。

メンバー：

スタッフも雇って？

真田 孔明：

自動的にお客さんが来たら鍵を渡して、終わったらシーツを換えてくれないかな。

メンバー：

そうですね。

真田 孔明：

フィリピンで尼さんを1人、雇って、今回いくら。Airbnbを取った人は誰でしたっけ？

メンバー：

僕が・・・

真田 孔明：

いくらでしたっけ？

メンバー：

1万3,000円で。

真田 孔明：

一部屋が1万3,000円。月で例えば、毎日、入ったとすると三十何万。

メンバー：

だから・・・39万円。

真田 孔明：

ずっと入ると・・・1部屋で3LDKで。お手伝いさんが1人いるんだよね。お手伝いさんは何部屋、見ているか聞いてみてください、その人。あれって何%取られるんですかね。Airbnbね。

メンバー：

3%とか。価格によってパーセンテージが変わるみたいで。

真田 孔明：

70万のたった3%？

メンバー：

それは確定の利益の部分です。旅行の繁忙期はそれぐらいなんですけど、2月とか6月とか少ないときは半分ぐらいまで下がっちゃうんです。

真田 孔明：

お客さんからもらったお金の何%がAirbnbに入るのですか？

メンバー：

大体3%から5%。

真田 孔明：

そんなもんでいいの？何か、不動産業者さんをお願いするよりいいですよ？営業活動してくれるし。

メンバー：

Airbnb自体は両方から手数料を取っているの。合計でいくと、そこそこの手数料。

真田 孔明：

頭いいですよ。でもね。

メンバー：

あそこは、決済、予約だけで。こっちは貸すだけ。

真田 孔明：

だから急速に広がっているんだね、今ね。

メンバー：

管理人さんとか、鍵の管理はどうされてますか？

メンバー：

私の場合、一軒家以外にいくつかあるんですけど、それは全部、キーボックスを置いてあって。案内を送付しておいて、ゲストはそれを見ながら来て開けて。

メンバー：

ダイヤル式で開ければ鍵が取れるようになっている。

真田 孔明：

あれはお客さんも評価されるから、やんちゃなことをしないですね。

—メンバー：

お客さんも評価されるから、ただ、やっぱり中国や韓国とか、アジアの人はめっちゃくちゃにする人がいる。

メンバー：

散らかしばなし？

メンバー：

ホテルの感覚なんですよ。もともとは欧米で始まったサービスなんですけど、欧米の方って綺麗にして・・・

真田 孔明：

紳士ね、エコも考えながら。

メンバー：

数は少ないですけど、食事中に言えないような状態になって・・・数回あります。

メンバー：

何か変なプレーをしちゃって？

メンバー：

そういうのもありますけど。何でこんなに飛び散っているんだみたいな・・・たまにありますね。

真田 孔明：

それは評価1にしちゃえばいいじゃない。

メンバー：

ただ、こっちが悪いと相手も報復。

真田 孔明：

わかるんですか？評価されたって？

メンバー：

同時に公開されるので、わからないんですけど、でも、チェックアウトしたときにこんなことしてみたいなのを先にメールで送っていると、ゴタゴタになるので、そこは目をつぶって。

北野会長：

そうやね。

メンバー：

評価だとそうなっやいますよね。結局、いい評価しか書かないという。ヤフオクとかもそうですもんね？

メンバー：

相手からのいい評価をほしいので、こっちも物が壊れていても、請求しますでなくて、お怪我がありませんでしたか？です。そうすると向うからも、最高のホストだと。

真田 孔明：

なるほど。

北野会長：

なかなか上手やね。今から俺のほう勉強に来ないといかんがかね？ 笑 こういうきめ細かいところは、やっぱり全然、違うよね。実践派やから、実践しとる人にはかなわんのやて。わしは毎日、遊んどるやろ？ハワイで上がってきてさ、また、10日ほど日本にいて、また、こっちに来て遊んどるやろ？だから、体が染みついて、で酒ばっかり飲んでいる、気がつく。今日からだから、酒をやめて、仏門の世界に入るってさっき言ったでしょ。なぜか飲み始めるとおいしいがね。

真田 孔明：

ちなみに今月は、僕が住むから #エアビーエムビーに出さないで、そういうのもありなのですか？

メンバー：

できます。日にち単位で貸し出し許可ってできる。

真田 孔明：

熱いですね。例えばハワイとか買ったら、ハワイに行くときだけ自分で使って、ほかはAirbnb。

北野会長：

最近それ、はやっとるよね？何か結構ネットにでもみんなそんなの載せとっから。

真田 孔明：

今回も予約しようとしたら全員予約できなかったんですよ。ここ。

北野会長：

本当。

真田 孔明：

結構、埋まっています。いろいろ入っているけど。フィリピン人を1人雇って貸し出すか、何人かで。

メンバー：

ゴルフ場。

真田 孔明：

ちょっと目の前なんです。歩くと危ないな。あそこは盗賊に襲われそうだな。

北野会長：

たくさんの発想があればさ、すぐに商売にも結びつくだろうし、俺なんか、自分の世界以外は全く知らないもんね。株が脳の中に95%ぐらい入っていて、だからほかないよ。人格もない、本当に。だから、心配や・・・自分でも。皆さんの話を聞いて、そうか、経済はそっちのほうへ回っている。せいぜい株のことは少しわかるんやけど、あと本当に全然わからんね。自分の会社が何をやっとなのか、最近・・・ 笑

真田 孔明：

本当に素晴らしいですよ。そうありがたいですよ。

北野会長：

なぜか話だけがね、洋服の話でも、あれなんかでも定価の割にあっちのバーゲンぐらいになると、俺は現金問屋やから、当然10%ぐらい大体つける。

メンバー：

定価の10%。

北野会長：

定価の10%、それぐらいでないと、儲けにはならない。

真田 孔明：

株と一緒に、暴落 笑

メンバー：

大暴落ですね。

北野会長：

この間持ってきたのはね、ちょっと出てこないな。というやつの話がたまに来るけど、そういうのを今度、どこへ投げるかいうと、上海へ投げる。向うの人は、なぜかマークに弱いから・・・マークに。あれは、日本ではね、キムタクあたりがサーファーか何かをやっているんやろ？あれのモデルか何かで確か、着とるか何か、そういうのをあっち中国人が見て、これならすごいとかさ、っていう評価が出るんやと。今、今度ハワイからね、孔明さんにちょっとチラっと言ったんやけど、シワが伸びる、シワが取れる。そういうものが今、サンプルで来ているんだけど、俺はとりあえず5割以上、儲かったら扱いたいなという一応、娘にはそう言っとる。ピンハネやから、俺は。ピンハネせんといかんから。5割ぐらいならいいんでないみたいなことを。だから、孔明さんのところでネットで、女の人を担当に置いて、ネットを流すと・・・書き方もわからない。この人、文章を書くのが上手やからさ。女の人的心までは書けんやろ？きちんと伸びますよとかいって・・・どう書くのかわかんけども、いんでないかなと思ったり。美と健康っていうのは、これは永遠に人が求めるものやから。美と健康はいらないっていう人はいないやて。

メンバー：

10%で買われるというのは、本来お店に行って・・・

北野会長：

洋服っていうのは、プロパーでやって45%。

メンバー：

減価率

北野会長：

利益が。それを全部、委託でやっていると、ほとんど損をしない、委託商売。30%OFF、50%OFF、70%OFFと、常にこれピンだけはねるがやて。売上の30%は寄越しなさいと。これぐらいに契約しておく、在庫は一切、引き取らん言って、ドンと。それと例えば、ここらの日本だと。そこも東京のメーカーさんが、6階建のビル建てて在庫ばかり詰めているの。あれは、一番安いときに3%ぐらいつけた。抜き取りで3%ほどで下ろせと。

メンバー：

3%で買うということですか？

北野会長：

定価が書いてあるやろ？メーカーやから。3%で寄越せとかさ。「それはひどすぎるでしょ」
いうてね、最初は10%ぐらいでいけとったやけど、10%でも買取やからさ。やっぱり売れ残り
がロスが出るわけや。洋服っていうのはロスが出たらもう利益は飛ぶから、だから、何十軒
も洋服屋を作ってみたけれども、それでなくても最近、ユニクロみたいな服がほとんど売れ
とるやろ？だから、やはり洋服っていうのは難しい、商売としては。もう1人おったやん・・
あの。

真田 孔明：

洋服の。

北野会長：

洋服。

真田 孔明：

九州の彼も儲けていますね。

北野会長：

華奢な体の人は。あんた洋服屋のほうに似合うんじゃない？渋い顔で「いらっしゃい」とか。
集金にだけ行くやつ。何でも商売をやってみると、絵を描いたときは儲かっているようにやけ
ど、キャンパスに絵を描いたときは儲かっているの。実際にやってみると、案外、金っていう
のは儲からないもんやてね、いやいや本当に。最近、自分が働くと余り無能なもんで、余り
金が儲からん。だから、社長を1人ずつ探してきて、「お前、この会社」「お前、この会社」
と順番にやらせておくと、これが一番楽。もう孔明さんに前に聞いたら、コンデローサをあな
たが言うたシステム、頭の中、フロッピーがキューっと回るとるよ。最近、光やから早いやろ？

真田 孔明：

会長にアップデートしてもらった。壊れたディスクを 笑 ディスクが壊れていますという。

北野会長：

俺はさっき孔明さんに、そこに部屋があるから、調べといってくれって早いやて、俺の早いなと
思うけど、この人は、指も早いから手癖悪そうやね。本当にすごいもんや。あんだけ。情報の
この速さはすごい。弁護士のところに電話して、これこれかかる。

真田 孔明：

法人設立から購入から・・

北野会長：

何分の間やで。

真田 孔明：

たまたまですよ。

北野会長：

俺、マッサージ屋さんに行って2時間かかって考えたことをやよ、彼に頼んだら5分ほどで・・・。
何か気分、悪くなってさ・・・すごい。

メンバー：

こっちの法人をってこと？

北野会長：

とりあえず法人を作って、遊ぶことを考えると。いつもこういうことをしとるんやて俺。思いつきでハワイにも会社を作っておけとかさ、上海の友だちのところに法人を作っておけよと、わからんやろ？そんな難しい漢字を読んでさ。英語なんて、全然わからんのやから。それでも、すぐ何でもできる。経済は金だけやから。後はパーセンテージと買う金額だけでええんや。そんな難しいことしない。しなくても回るようになって。後はこういう頭のいい人が横におればすぐや。弁護士と司法書士ダブルで、そうやろ？孔明さん、3日かかるのかなと思ったら・・・すごいやろ。この遅さ・・・自分の。

メンバー：

アメリカから仕入れる？

北野会長：

うちのハワイの今、娘がいるんだけど。孫と。そこから入ってきた情報で、画面にも出ているんやけど、見たことないから見なくて、パーセンテージが決まったらいんでないのみたいなことを。何方式やったかな。何かそういう式方式みたいなのかさ。いろいろな方式があるから。アメリカは大体それが多いよ。だから、そういうのをちょっと調べて、後は、減価率聞いておいてくれと。俺も大体、何でも手はつけてみるやて・・・条件さえよかったら。何が当たるか、そんなのわからないからね。世の中。いろいろな商売をやってみて、はい、はいみたいなもので。バンバンとやって、駄目やったらすぐにエグジットね。逃げ足は速いの。

真田 孔明：

未練、残すな。

北野会長：

金、残せと言っとら。だから、会社が10もあると、何をやっているか自分でもはっきりわからんぐらいやっとなる感じがから。

メンバー：

これもカットになっちゃうかもしれないんですけど、これはあくまでも儲けるというのを、仕事は道楽じゃないですか。その道楽として会社をやられている。

北野会長：

そうそう

メンバー：

株だけやっても、株も楽しいですけど、それだけやっていると暇になってしまうから、さらに楽しいことをやろうと思ってやられているのですか？

北野会長：

だから、今日たまたまここマッサージしていたら、昨日ちょっとほかからそんな話が上がってきたもんで。あれはどう考えたらいいのかなと思って。2時間もマッサージ・頭だけ体が動いとらんから、頭だけよく回るやろ。これはやっぱし会社を作って、何かしたらおもしろいかなと、ただ、発想だけ。

メンバー：

本当に趣味なんですね。

北野会長：

そうそう、趣味。皆さんのように必死に働くことないから、必死に働くからみんな飛ぶのよ。俺みたいにダラダラダラダラとやっていれば、将棋の駒と一緒にさ、いかに適材適所のところにパンと打つかで決まるが人生は。そうでしょ？だから、どういう具合のレースを組むかだけだ。

メンバー：

会長の場合は、持ち駒が多いから楽しそうですね。

真田 孔明：

サッチェル、こっちのも頼んできた？（料理）

サッチェル：

頼んだらまとまってきちゃった。

北野会長：

もっと頼めばいいやん。同じものをもう一つちょうだいって言えばええやん。

北野会長：

だから、趣味でやっとなる。

メンバー：

趣味でやっているんですね。

北野会長：

道楽は貯蓄のがやて。たくさんの業種をやると、そうなるの・・本当に。自分では何をやっているかはっきりわからない。一番チェックしとることは、今年の正月おる、日本に正月、みんな決算書をもってさ、下が黒なら俺はそれだけで十分、ここに赤い字が書いてあったら気分、悪くなるがやね。何とか回って俺がピンハネする分だけあれば、俺は毎月、節約しながら遊んどるわけ・・そうやる？毎日、節約しながらご飯も食わず酒ばかり飲んどるな。でも、やっていいのは、マンション貸し、テナント貸し、ここらがいいね。

サッチェル：

会長、日経新聞を持ってきたんですけど、会長がどこに注目して読んでいるのか、ぜひ、知りたくて。

北野会長：

すごいこと言うね。あんたらちね。

サッチェル：

どういところを注視して。金曜と木曜のも持ってきたんですけど。どこに会長が、日経新聞の見方というか。

北野会長：

1面にさ、何が出とるかをパラッと頭の中に暗記するね。

サッチェル：

1面を。

北野会長：

俺は、眼鏡をかけないと字が一つも見えないから、ここに悪い情報は例えば出ていた会社は即、空売りをかけておくと。

サッチェル：

なるほど。1面に悪い情報が載ったら空売りと。

北野会長：

これを前の日にネットでもし拾らうことができれば、そのほうが絶対にいいよ。ネットのほうがもっと早いから、情報が。それで皆さんが、俺はガラガラとこう読んで。

サッチェル：

朝ですよ。

北野会長：

そうそう、朝、仕事に行かないから新聞を読むしか手がない。わかった？ 笑

メンバー：

俺もそうなるのかな。

北野会長：

仕事がないのやから。

サッチェル：

コーヒーを飲みながら。

北野会長：

コーヒーは1日に朝3杯ぐらいい。携帯電話も全く鳴らない・・・最近・・・ほとんど。

サッチェル：

1面から順番に読んでいくんですね。

北野会長：

全部、読んで、これをサラサラっと読んで、時間があればよ。地方版も三つぐらい取っとる。パラパラと一応読んで、同じものが大体かぶっているから、情報は。そういうのを見て、大体ほとんどは株の面に目が留まるね。下のコマーシャルみたいなやつ、これも重視して読んでおく。

サッチェル：

そういうのを見て買うわけですね。

北野会長：

書いてあるやん。俺が好きなの。後は、固いところでは中国の銀行、頭から順番にそういうのをバラバラバラと頭に入れとる。そんで、自動車やら、いろいろあるよね。それを全部、買っているからね。俺。それね、こういうバカなことが好きなの。

メンバー：

結局全部買うんや 笑

北野会長：

結局は、資本がないから、金もだから持っているを使うから、全部、弾を打ち込んでしまう。こらが木曜日だとすると、どこかこら辺から株が出てくるんやて。ガラガラガラと。最近どこが、14円配当でプラスとかさ、読んで。

サッチェル：

ここからですね。

北野会長：

ここやてね。どっかこら辺にね、信用取引残高が出とるやろ？買い残、売り残とか、個人のね。全部出てるね、オプションとかね、先物。これは何の先物やろ。これは違うな。皆さんは、ここ東京株式信用・・・あれ？出とらん。そういうのが出とる。ここさえ見ていれば。株のときにここに個人がいくら買った、法人がいくら買ったいうて出ているから、そこを絶対に見逃さないこと。先物売り、これは違うわ。こんなところに・・・

サッチェル：

海外勢の買いとか？

北野会長：

そういうのが出とるやて。それは孔明さんに皆さん、ネットでも入れておいたほうがいいよ。

メンバー：

ネットで見られるんですか？

真田 孔明：

Facebookに投稿しています。海外勢の・・・

メンバー：

見ていない。

北野会長：

あれさえ持っとれば、楽天証券のiSPEED、あれを入れておけば、先物の上がり下がりはず夜に動くからね。夜はやっぱり酒を飲みながら、たまに画面見て明日は安いな、こういうところを見逃したら駄目。だから、外人勢がドカンと売る前に売らにやあかんからね・・・わかる？俺の場合はせっかちやから、2日前に先に売っとるんやけど。広東省で爆発、言うたときに「やったみたい」笑 嫌よね。何で、お前、爆発で喜ぶんや？嫌だね。そういう性格が・・・大体ね、そこら辺を読んで、これを誰か暇なやつが・・・

サッチェル：

会長、後ろのこの辺は読むんですか？

北野会長：

地方版ぐらいから、余りね・・・

サッチェル：

こういうやつは？

北野会長：

こういうやつね、目が悪いから、これはね。

サッチェル：

これは見なくてもいいんですか。

北野会長：

俺はね、この前も言ったけど、画面。iPadの画面いっぱい分しか株はやらない。それも一緒の株。

メンバー：

ここは見えない？

北野会長：

全然、見ない。

メンバー：

ここは見なくていいんだ。なるほど。

北野会長：

俺のやり方やよ。俺はだから40銘柄さえ・・・

サッチェル：

海外勢の買い方、信用の残りがどのぐらい残っているのか、そういうのをごらんになって。

北野会長：

だから、海外勢が買いに来ないと日本の株は上がらないやろ？覚えておいてね。あれは海外勢が買うから上がっていくんやて。あともう一つ、何で今まで上がったかいうたら、日銀がドンドコドンドコ買っとるやで。年金資金で11兆円、儲けとるね。孔明さんの日銀が、黒田さんの儲けたの70兆ほど

真田 孔明：

買い増しが70兆だったんですね。買い増しが・・・

北野会長：

一番、儲けとるのはあこのがやて。それで、あこで日銀が空売りはかけんけれども、でも、わからんよ、あの人は。誰とは言わんけども。あの性格やからやるよ絶対。俺はやると思う。例えば、海外勢がウエイトがさ、もう50対55やから。日本の株式なんていうのは。海外勢がさ、ダっと増えていく時期があって。だから、あの人たちがバンと売るやろ。空売りドンと。先物売ったれと。1万ロットぐらい、ドンドン言うてやると終わりやて。原子爆弾を落とされたみたい。

真田 孔明：

海外勢を殺す。

北野会長：

そうすると日本も飛んでまうけど。でも、日本もね、危険でないかい言ったら、そういう危険性は学んどる。恐らくね、デノミの話。日本なんてね、1000倍のインフレを起こすへっちゃまでやるんやから。戦後、1000倍以上のインフレを起こした国やから。

真田 孔明：

昭和24年。

北野会長：

そうやる？ほとんど詐欺師と一緒にやから。わかった？だから、金なんていくら借りとっても大したことないやて。

メンバー：

1000倍になったら。

真田 孔明：

1000分の1の価値になる。

メンバー：

1000円かりたら1円返せばいい。

北野会長：

だから俺は借りたら、今の通貨じゃないし、もらっておくわと。

真田 孔明：

なぜか、土地だけ残っているみたいな 笑

北野会長：

だから、戦後、金を儲けた人は、特にお前、金が好きやから言うとかくけども。あれは政府とかさ、東急とかさ、沿線沿いにずらっと上がっていったよ。あれが銀行からしこたま印刷物をとって、役所から全部、買い集めた、土地を。そんで、そこが地主になった。だから。でっかい波のときにそういうことをしとるわけよ。これ、お前、1000分の1や・・・借りた、返すときは。そんなもんすぐに返せるわな。だから、沿線、全部自分のものや。

サッチェル：

会長、プログラム売買とか、こういうのはごらんになったことがありますか？

北野会長：

こういうのは見ていない。

サッチェル：

見ていないですか。こっちの市場信用取引残高。

北野会長：

それは見とる。

サッチェル：

これを見てどう分析すればいいんですか？売りが残り、買いが残り。買いがいっぱい残って・・・。

北野会長：

そいそう、買いが残っとるということは・・・

サッチェル：

将来的に下がる。

北野会長：

将来的に上がる。

サッチェル：

上がるんですね。

北野会長：

だから、ここらが増えていくとどういふことかと言うと、いつもここら辺に出とるんやけどね。

サッチェル：

ここは、空売り比率が34.9とか。

北野会長：

孔明さんに送っておくから、これ出とる日と出ていない日がある。

北野会長：

会長のところに来るのだけ違う印刷物 笑

真田 孔明：

プレミアみたいな。

メンバー：

「爆発やったー」って言ったら、その日付が次の日だった 笑

真田 孔明：

3日前とか 笑

メンバー：

未来新聞。

真田 孔明：

起こしますみたいな 笑

北野会長：

ネットにアップするようにするから。

サッチェル：

ありがとうございます。見方がいまいちわからなかったの。

メンバー：

こんだけあるとわからないですね本当に、僕らも何を・・・いっぱいありすぎて。

サッチェル：

この中でどれを会長が見ていて、どう判断しているのかな、いっぱいあって。

メンバー：

全部見てるはずはないと思うんですけどね。

サッチェル：

こういうのは見えています？日銀の金融調整とか。

北野会長：

そんなの見ていない。金融調整っていうのは見ていない。

メンバー：

サッチェルさん、ここバツとかつけて。

サッチェル：

会長が見ていないのはやる必要がないので。

北野会長：

俺はね、今もこれであれやろ？買い残とか出ているんやろ？iSPEEDの中に入ってたか？これの中に入ってたか？。この次の画面に入ってるやろ？売り。外人の売り買いが毎日、日付ごとに出とるやつあったよね？

真田 孔明：

はい、外資系動向。

北野会長：

そうそう、外資系動向を一番、見とらんと駄目。

サッチェル：

外資系動向を見られているのですね？

北野会長：

そうそう、俺もそれは入れとるよ。

真田 孔明：

こういうやつですか？

北野会長：

そうそう。これこれ。これをだから、今日、みんな。

真田 孔明：

Facebookに載せていますね。Facebookに。

北野会長：

これが、どんどん外人が買いがあると、大体、株は上がっていくがやて。昨日も大体、130、昨日は下がったの、これが。

真田 孔明：

下がっていますね。

北野会長：

これを見ればすぐや。

メンバー：

一昨日がすごいですね。

真田 孔明：

2万円近く。

サッチェル：

これで外人がバカ買いしていたら上がるんじゃないかと。

北野会長：

日本人はそんなにね、あんたらちみたいになんかで売り買いする人はいないの。買ってずっとタンス預金で持っとるだけなんやて。外人は、プロやからあれは。買ってとるのはプロやから、ドンドンドン積み上がってくるわけよ。そこで、手仕舞いをかけるか、大砲にドカンやるか、二つに一つを選ぶわけよ。だから、一番喜んでいるのは外人なのよ。だから、ここに外人動向さえ、見とれば、大砲がドカンと来るのがわかるわけよ。

サッチェル：

買いがドンドン上がっていったら、いつかドカンとやるんじゃないかと。

北野会長：

当然。それともう一つ、注意せんといかんのは、日本でジャブジャブ印刷するやろ？印刷するいうと、金が日本に余っとるわけや。だから、外人も買いに来るわけよ。日本の会社も、自分のところの会社の株を買ったりさ。ほかの会社のつき合いで買ったりするわけや。融資したって、設備投資しないんやから、毎日、新聞に書いていない？企業は設備投資をしないで、みんなとどことる。こう毎日言うとするんやから。だから、そこに必ずデカイ金が流れるよという。現実には目の前に来とるわけ。だから、恐らく、もうバブルで飛んだ時期よりも、株価は低いけど、2万円そこそこやけど、昔よりも市場は肥えた。これをアメリカ流にしたいわけ。デカく、要は釣り上げたいわけよ。釣りあげると何でもできるやろ？自分のところの株を売っては投資ができるからそういうことをしたいと。これが今の政府の考え方。後は金を一般、法人に貸して、投資信託を買うやろ？投資信託の会社は、各会社の株を買うとするやろ？だから、弾が回るやろがよ。訳のわからん配当がどうたらこうたら書いとるわけよ。あんなの訳のわからん、孔明さんが言う0.01%の経済の中でやぞ。今年は俺も、10%そこそこしか行かんと思うんやけど。後もう1カ月あるから、どれぐらい上がるのかっていうところが勝負やね。去年みたい、ああいう、あれは異常気象や・・・去年は。ほとんど40%から50%ぐらいまであったからね。

ああいうことはまた別の話。俺は、だから正直な話ね、24%を目標にしとるの、計算しやすいから。ただそれだけなんやて。ちょうど1億、貯めるには、あの計算式を24%で想定してやると、簡単にできるわけや。

真田 孔明：

10年間で。1000万が1億。

北野会長：

1億が10億になるんやから。だから、そういう計算式のもとで、計画を立てとるわけよ・・・図面はな。現実は厳しい。去年みたいなことはそうないっていうこと。

サッチェル：

商品先物のほうはやられな？

北野会長：

商品先物も、何か聞くとFXと同じで、誰かが仕掛けられると、ゴロっと入ってしまうらしい。小豆、大豆、小豆何とか言ってるんやけど。それもちょっと詐欺的なところがあるもんで。ここは、株式は参加人数が多いでしょ。今ほ、iSPEEDみたい。余り誤魔化しがきかないようになっとるんやね。それでも誤差が0.1秒か何かあるんやから、これでも0.1秒か何かあるんや。FXであれば1秒あったらね。1秒あったら、孔明さん、どれだけ弾くと思って。そういうことを考えたら、市場じゃないと俺は思っとる。ドカっとこれから、例えば間違いなく円安になるという情報が入ったらFXでもやってさ。

真田 孔明：

現物ですね。信用じゃなくて。

北野会長：

そういうのをやらんと。だから、信用は投信を担保に株をやっとる。東洋証券とBOOM証券では中国買いをやっとる。それがほとんどやね・・・やり口としては。ただ、皆さんも少しずつやったらわかると思うんやけど、要は金を持っとれば何ぼでも金っていうのは儲かるということが大体わかったと思う。だから、趣味はお仕事に、趣味は、おれはルンペンやって、格好悪いやろ。だから、こんな商売やったなって。趣味で潰れなきゃいい。潰れなきゃ・・・。後は、金は一番安いんやから。金も残るシステムなんやから。どこの国でもね、金持ちが一番優遇されるに決まっとるの。だから、やっぱり法に基づいて動いたほうが一番楽やいうこと。とりあえず、皆さんが立っとると。世間体が悪いから。

サッチェル：

お邪魔しました。

メンバー：

日銀の話で、今日銀が凄く設けているじゃないですか？日銀ってもの凄く儲けたって黒田さんにその半分も入るとかではないじゃないですか。何を目的にそんな儲けようとしてるんですか？

北野会長：

印刷するやろ？誰も使わんもんで日銀が引き取ると。日銀は、使いどころがないからさ、まさか、みんなで燃やしてさ、暖かいなちゅうわけにはいかんやろ？だから、当然、それを企業活動に役に立てようと。1社・・・例えばトヨタにだけ融資する。日産にも、ほかの株も買わないとおかしいやろ。だから、満遍なく・・・それが投信のがやて。それを何年か前に、考えついて、それで皆さんに隅々までね、多少の落差はあっても、みんなにお金が行き渡るようにしようと、これがやはり日本の今の投資信託のやり方。それに目をつけたのが三木谷さんというはしかい人が俺を諮問委員会に入れてくれと。そうすれば、うちで出来レースの・・・組みますよみたいなことを何か言うたんじゃない？よっしゃ、よっしゃと。言うことで、だから600円の楽天の株が高いときに2,000円、今1500、600円ぐらいまでなっていると。そういう話というのは、投信を買うという話のときに、「社長さ、楽天の株も大分ね・・・行ってくださいよ」みたいなような感じで言うから。あら、そう言うて、600円きって買っとこうかな、みたいな。真面目やから。言われるとすぐに信用して、失敗したら怒るだけ。気違いのように怒る。

真田 孔明：

会長、まだそれを売っていないんですか。

北野会長：

俺も売りたいわさ。でも、こうやろ。大量に売りあげせしたら・・・。

メンバー：

あ～なるほど。

北野会長：

「野郎、お前な。約束が違うやないかい」とこう言われても。そういう話っていうのはさ、遠回しに入って来るわけよ。今度、三木谷君が入るから、前のオリックスみたいなもんで、みたいな話が出ると、ああ、オリックスみたいな株も上がるのかみたいなように聞こえるわけよ。孔明さんがさっき、だから口を酸っぱく、はっきりしたことは絶対に言わない。みんな。今度あれが入るらしいから、あこあたりいいんじゃないのみたいなようなことを言うわけよ。少し、買っておきますわ、みたいなことを言えばさ、相手も悪い気はせんよ。そこへもってきて、孔明さんが楽天証券の毎日PRをしとるやろ？

メンバー：

してますね、相当してますね。

北野会長：

今では、楽天から大分、賄賂あたり来ているんじゃないかなと 笑

真田 孔明：

来ていないです。もらっていないです。1円も 笑

メンバー：

すごい宣伝効果ですね。あれ。

真田 孔明：

この間、マックで楽天の講座やってました。アップルで、アップルストアで。

北野会長：

だから、そういうことなんやて。俺はだから孔明さんのところへ、きっとリベートがこれから 笑

真田 孔明：

僕はただ、海外居住者でも開いたままにしてほしい、それだけですから、マイナンバーなしに。

メンバー：

確かにそうですね。

真田 孔明：

それだけです。僕の願いは。

北野会長：

だから、そういうことなんやて。経済は。そこだけ知っとれば。だから、何気ない一言で我々は結構、注意深く聞いたことを何度も頭の中でコピーする。この単語が出ていた、こういう話が出ていた、農業の話も「ああ、そうなの」みたいなことを言うて、こうしながら、サラサラサラと聞いたやつをする。だから、絶対に自分は何もしなくても、頭の中に情報だけは入ってくる。それが出てくるわけ。

真田 孔明：

後から。

北野会長：

後から。

真田 孔明：

会長が、すごいベロベロに酔っぱらった感じでもちゃんと全部、覚えているんですよね。サッチェルがちょっとこっくり寝ていたんですよ。それも覚えているし 笑 それすごいですよね。飲んでいても記憶がしっかりしているっていうのは。

北野会長：

飲んでいる、営業時間よりも、人と酒を飲んで、これから、例えばここ出てクラブ活動をしてさ。クラブに行くような接待をやって、2時、3時まで飲んだら、一番相手も酔っとるわけやから。俺が一番酔っとるけど。笑 それでも、相手は言ってはならない一言が出てくるもんやて、そうやる？ 言えない一言を聞かなきゃ。それが商売の基本がろやよ？ 「今度、農業改革があるんだよね」「農業改革だけど、どうなの？」パパッと聞くわけやないかい。そうすると、情報を流してくださいよと。俺のところは一つね、情報を取るからみたいなことを言えば。

メンバー：

尻尾捕まえて。

北野会長：

そうそう。尻尾を捕まえてから首根っこ。

真田 孔明：

頭を使うとしたら、居合抜きと一緒にです。

北野会長：

一番楽なのは、株でも高値で掴んでも心配いらんの。見て下がったれば、順繰りに会社さえ、潰れなければ、順繰りに買い増ししておけば絶対にきついに決まっとる。ただ、それだけのがやて。金さえ入れる弾さえ、持ったれば株何て負けるわけがない。あんたら特にパソコンを使うのがうまいんやから。俺なんか、指1本しか使えないから。孔明さん、横でも使えるね。

メンバー：

日銀は、別に儲けようと思っているんじゃないくて、資金を流そうと思っていたら、儲かっちゃったっていう。

真田 孔明：

あの人たちは、でもそんな悪意でやっていないんですよね。本当に日本のためにやっているんですよね。

メンバー：

すごいですね。本当に究極系ですね。僕らがやろうとしていることの、国のためにやるっていう。

北野会長：

僕はその後ろで旗振りをしとるわけ。だから、銀行からバンバン金を引いてや、利息だけしか返さんけど、バンバン持ってこれと。適当に事業もするよと、事業すると雇用が増えるやろ？銀行には利息を返すやろ？株で儲かっても、全部頭20%、きちんと払っとるんやから・・・そうやろ？まさしく、日本人らしく、いいタイプやろがね。こういうことを言いたいわけ、本当は。

メンバー：

やっぱり、そういう形で動いてくれるほうが一番ありがたいんですよね。預金だけしてってのが一番嫌、今になって思えば。政府なり日銀なりが、日本人はみんな心配だからみんな預金して、死ぬ時2千何百万もって死んじゃう。あれが一番嫌だった。

北野会長：

日本人っていうのは金っていうのは使わない・・・全員が。だから、デフレになるともっと脇が固くてさ。隙間がないっていうぐらいひどいんやから。それを今やっと、安倍さんが今のね、今、黒田さんと浜田いうじいちゃんおるやろ？イエール大学の・・・あの人が言ったら負けさ。一番何が効くかいうと、日本はアホや。あと白川対談いうやつ、何かネットでも出とるから、たまに見てみられ。お前のやっとなる政策は、人間性に欠けとるんや。こんなことをヘラヘラ言っとるんや。ものすごい。この間、ハマいう、何大学の教授か、評論家。

メンバー：

同志社大学。

北野会長：

同志社大学。あのおばはんがさ、あれが日本で一番、影響力がある。何でや言うと、あれ女やろ。だから、女が味方につくわけよ。男より人口が余計やろがよ。女のほうが信じやすいから、あのおばはんの言うことをみんな聞くわけよ。それで、同志社大学の教授か講師かやっとなるやから。だから、レットルはすごいんやて。あれとイエール大学の浜田先生の討論会を聞いてみ。お前みたいバカなやつ講義を聞いとる学生がかわいそうだと、浜田先生バンって言うがやから。俺も聞きながら汗が出るような。へっちゃまで言うがや。だから、経済政策。この印刷が、100万人の雇用を生んだよ。今、日本でね。安倍政権になって。100万人の雇用が増えて、今では労働者が足りん時代になったんやと。今までそんな時代は日本で1回もそういうことが起きたことはないんやと・・・まあ、これぐらいまで言うとする。お前らみたいなバカが、バカな教授がおることが間違っとるみたいなことを言うとする。おじさんはさ、こんな感じやから80いくつだから。笑 その後に言うことが鋭いんやて。刀でシャシャッと首元を切っていく。もうすごい。俺はあの人のおしゃべり方、好きやな。

メンバー：

同志社大学の浜由子さんはファンです。

北野会長：

まずね、安倍さんって言わん。アホミクスをやっているんやと。日本全国で言うんやから。あれはアベノミクスやない、アホミクスやて。いまだかって言うとり。鉄の女っていたけど、あのおばはんはすごいわ。もう、棒にも橋にもかからんほどや。

メンバー：

顔もちよっとかわいそうな・・・。

北野会長：

みっともない顔をしとっから。今度一個シワを延ばすサンプルでも送ってあげて、使ってくださいみたいな。発想としてはいい。すごい、何せね、あこらの会談を聞いとるとすごい。これはね、本当にその話を聞いて、一度、飯だけでもいいから。酒も食事もチラチラ。酒もちよびつと飲んだらもう、俺と一緒に、すぐに寝るらしいんや。そのような話も前に出とったけど。日銀のコンテナ一台とかいかんけども、何かできんかね。

真田 孔明：

強奪。

北野会長：

強奪すると捕まるから、何かあれをできんかなと思って。最近、考えとることはトラックにやっぱり積むやろがよがお金っていうのは。それを私の自宅まで届けてくれるとかさ。これいいんでない？

メンバー：

日銀がですか 笑

北野会長：

そうそう。日銀が。どっちみちあんなもん、印刷した枚数まで誰も数えていないやろうよ。そうやろ？ どう？ 銀行から借りるよりも、日銀からバカっと入れてくれりゃ。

真田 孔明：

そのまま投信で。日本の企業の株。

メンバー：

そうですね、同じことですね、やってること。

北野会長：

そうでしょ。だから俺が言っているのは、いつもそこを言っとるんやて。

メンバー：

ちょっとだけ会長がピンハネするだけで 笑

北野会長：

僕は小さいピンハネでええんやん。大きい望みはないから。節約が一番好きなんやから。無駄遣いしませんよ、というのが私の送り言葉やから。でもさ、おかしいと思わん？みんな経済が。経済の特に最近おかしいのは、俺が思うにやよ。東芝が粉飾決済をやったやろ？あれは誰も逮捕されとらんがやて。

メンバー：

社長が何回か変わっただけで。

北野会長：

社長がチェンジしとるけど。あれ歴代ずっとやっていたんやて。

真田 孔明：

創業からやっています、たぶんあれ 笑 サラリーマンがあんなこと考えつくわけじゃないじゃないですか。サラリーマン社長はそんな勇氣はないですよ。

北野会長：

決算っていうのは。だから、それぐらい意外なものやんて、わかる？経理士にうん、うん、経理士の先生がそう適当にプラスにしておいてくれプラス、金っていうのはそんなもん。あんたらちは、金の本質を知らない。金っていうのは紙と金の話。違うやろ？

メンバー：

紙と金ですか？

真田 孔明：

金本位制。

北野会長：

今どうよ？日銀の印刷機からドーっと出てきとる。

メンバー：

紙代と印刷代だけで。

北野会長：

そうそう。だから、そんなにね、金っていうのに集中力を持つと、びびるようになるがやて。あんなの持っとるだけやったら、新聞紙を持っとったって同じやよ。ただ、重いだけや・・・本当に。

メンバー：

この前、まだ本当にちょびちょびしかやっていないんですけど、NY株が2週間塩づいちゃったんですよ、短いんですけど、僕に十ては、すごい長くて、2週間塩づいた後に、1円だけ超えたんです一瞬。これだけ持ったんだから1円で売りたくないと思ったらまた行っちゃって、という未練を残した。

北野会長：

ポンと上がる日はある、なんでも。300円の株でも、20円上がる日もある。だから、毎日言っ
とる。だから、未練残すな金残せ。明日また買えるんやからそんなもん。何ぼでも買えるんや
から。1,000株、10,000株、100万株でも買える。心配せんと、どんどん斬りまくと。だか
ら、さっきの東芝の話に戻るけど、東芝は俺は孔明さんが言う、もともとずっと歴代やってい
たそう思うやろ、じゃ、東芝だけかい。何も全社やっとするが。

真田 孔明：

全社やってます、昭和の会社は。

北野会長：

わかった。昭和の会社は全社やっとするわけよ。

真田 孔明：

ただ、多分ばれる会社とばれない会社の違いは、会社を銀行に渡したかどうかだけなのですよ。
うちの働いていた会社は創業一族だったのを、僕の入社した年に銀行に渡した、東京三菱銀行
から来た人が社長、会長になって。最後に会長になったんですよ。だから、多分、助かった
んだと。あれが創業一族だったらやられていた。副社長がやはり怪しいことをいっぱいしてい
ましたもん、あちこちに行って・・・副社長が会計をやっていて・・・前まで。

北野会長：

だから、創業者だけなの。

真田 孔明：

そんな事できるのはね。

北野会長：

後は、だからレッテルさえ取れば、社長は東大、慶応、早稲田、6大学から社長を選んで据え
ておくと。後は、すぐにだから、あ、済みませんでした。さすが学校で習ったとおりやる。

真田 孔明：

全員で礼って、あれ謝る練習してる 笑

北野会長：

ただあれば創業者のホリエモンだと、やっぱり2年6カ月ぐらいパンと刑が下る。あれは何でか言うたら、彼は若い割に、やんちゃしたわけやないかい。だから、それをねたまれたわけや。考えられ、あんたらちも。今の本当の経営者っていうのは、みんな6大学を出たような経営者がほとんどおるんやから。やんちゃ者はいらんわけよ。サングラスをかけて歩くとかさ。目つきの悪いやつはいらん経営者。おじさんから言えば。みんな、ピシっとしてさ、パソコンよりも目ん玉、早く、字が読めるぐらいの人が経営者になる。でも、あの人たちは、いいところがある。自分の会社に勤めとっても株なんか、ほとんど持ってねえやから。だから、毎日送り迎えはしてくれる。でも、社長が終わったら、それで終わり。本当に農業かなんかやって・・暇でね。それぐらいの話。だから我々、1代目はそういうことを考えて生きんとあかんよ。長い者には巻かれて。真田孔明を見てみる、最近は、みんなに融資を獲得して、国のために融資を引っ張ってやな。それで、居合抜きをやって税金を20%収める。まるでお前、日本のモデル。

真田 孔明：

黒字経営で納税が足りなかったら「足りないって」笑 納税が足りない。

メンバー：

やっと言っていることがまた孔明さんの話で、やっ腹に落ちて、ああって。

真田 孔明：

今年は、去年より納税を9倍するみたいですよ、9倍に。

メンバー：

9倍にします。

真田 孔明：

去年、6万円だったのが、今年54万円ぐらいにするって 笑。

メンバー：

やります。国のために収めます。

北野会長：

だから、銀行にもそうやって言えばいい。僕はお国のためにやっとりんやと。納税のために生きてるみたいなもんや、私利私欲には絶対に使いませんと。ここまで言えば、なるべく元本を取らんと、金利だけお願いしますと。だから、こういう流れさえ作っておけば、知っていうのは、情報のものやからさ。俺は返さなかった日は1日もない。だから、金利を安くしてくれればもっと借りてあげるから、わかる？もっとたくさん借りるから金利を安くしてやってくれ、こうお願いすしたらいい、本当に。だから借りたお金でもね、銀行にガバッと入っとれば、金持ちのやて誰も借りたか知らないから、銀行の金は全部自分の金。

メンバー：

会長、2つ気になっていることがあって。TDですけど、今めっちゃめちゃに下がっている、当然潰れはしないと思うんですけど。

北野会長：

潰れん。銀行が潰せん。あこを潰したら、債務がどこへ行くかというと、国へ全部いく。銀行経由で国へ借金被るやろ？だから、みんな黙っとるわけよ。あれ、ホリエモンややからガッチャマンやぞ。おじさんらち、みんなほ、学閥やから、わかる？日銀の人も、銀行も、その社長もみんな同級生、同級生がおるわけや。だから、みんな「まあまあ、まあまあ」当然こっちにもサツにもおるわけよ、偉い人は。「今度の件さ、内々にな」みんな、そんな話や。コンニャク食って合意しとる・・・それぐらいのもん、腹に残らんこと。だから金があれば今のこの安いときにああいう家電何社やったかな。買い占めておくっていうのは甘い・本当は。

真田 孔明：

家電に未来はなくても、ある程度は戻るってということですかね？

北野会長：

そうそう、日本の家電も、パソコンは駄目、携帯電話も駄目やろ？生きる道がない。白物家電は全部、チャイナに取られてしまったと・・・韓国とね。そうやろ？もう生き残る道はないやて。ここで死ぬかいうたら、俺は死なんと思うとる、わかる？ここで絶対に、なんかをやると思うよ。電気会社は。

メンバー：

この前、白熱灯が駄目になってLEDしか製造しちゃ駄目ってなって、それを電球の買い替え需要を作るために国がやったんじゃないかっていう。ああいうことを国がどんどんやってくる・・・

北野会長：

出来レースを作るわけ。経済っていうのはみんなそんなや。みんなね、だから銀行も証券会社も全部グルなんやから・・・大学一緒やもん。みんな、こうやって飲んだら、やくざになっとる人もおってさ。その案件はうちでやっておきますわ。裏ですから、みたいなことを言うとる、絶対に裏処理をやっとるんやから。

メンバー：

アナログから地デジのときがまさにそうですよね？国を挙げての。

北野会長：

そうそう、出来レースや。

メンバー：

国を挙げての・・・テレビ買い替える・・・

真田 孔明：

テレビを買い替える。

北野会長：

ところがあれ、いくら輸血しても、家電業界は立ち直れんのやて。そうやろ？30万円の日本の給料と、3万円の中国の給料が戦争しとる。勝てるわけがないやて、1対10でケンカしとってみれ、袋叩きで終わり。俺が言いたいのは、そこを言うとのわけ、いつもね。だから、中国は伸びないと思うやろ？中国は伸びるのさ。中国人は毎日、必ずご飯を食べるから。あんたらちが心配せんでも。ご飯を食べるということは、必ず伸びていくの、すぐに死なないから。数が違うやろ？数が違うんやから、今は寝たとしても、孔明さんの餌がいっぱい落ちとるわけや。

真田 孔明：

チビチビとですけど。まだ。

北野会長：

刀を10本ぐらいあっても市場がでかいし、人口が多いから。

真田 孔明：

まだ33万円ぐらいです。今、塩漬けゼロで33万円。初月から、1個もない、だから空っぽ。

北野会長：

もう一人、香港におる人、何ていう人？居合抜きをやっとる人で、もう一人友だちおるやろ？

真田 孔明：

平城さんのこと？今、日本に帰っています。

北野会長：

日本に帰ったの？あの人も結構だから、さすが友だちやて、回転力が・・・シャカシャカと銭を抜くのがうまい。

真田 孔明：

しつこさが違う、ずっとチビチビできるんで彼は・・・集中して。

北野会長：

集中力がある。

真田 孔明：

全然違う・・・僕と。僕はいつでもきっかけだけ持って行って超えてくタイプ。

北野会長：

あれ500円でも40何回やったら2万円になるぞ、まあ、500円ということはないから・・・5,000円ずつ抜いてみれ、お前20万。あの人はね、恐らく早い。もう一人あの若いやつ。あれもきつと回数はよくやっとなるぞ。

真田 孔明：

今回の塩漬けが解けたらまた復活 笑

北野会長：

本当は早く打てるやつを・・・俺は家でそういうことを言うとする、うちの嫁は絶対にせんのや、嫁は、金とるだけ。俺は娘が2人、婿はん2人、孫4人はやっとなる・・・株を。今はポイント制やから「お前800ポイントとかさ。800万ポイントは・・・俺が一番や」みたいなことを言うとする。俺にしたら、おだててさ、株を売買させて、産めよ増やせよみたいなことをやらせとする。

真田 孔明：

最近、婿様が昨日、聞いたんですけど、1億5,000万抜いて、パパを超えるよって言って 笑。

北野会長：

俺に物を言う。

真田 孔明：

もうそろそろパパを超えてみせるみたいな。とうとう言ってきたと・・・1億5,000万。8月24日ので。

メンバー：

あそこで抜いたんですか。

真田 孔明：

そう、1億5,000万。

メンバー：

すごい。

北野会長：

サラサラと俺にさ、物を言うんやから「いずれはパパも射程内ですねみたいな」「何？俺が射程内』笑 本当にね、うちの食卓はほとんど株の話やから。

真田 孔明：

娘様が言っていましたけど、小さいころからパパは食卓で株の話しかしないって、株とビジネスの話。ただ、ファミコンで遊びたかったのに、いつもパパがファミコンを独占していて、野村の株で 笑 できなかったと 笑 ファミコンで。

メンバー：

ファミコンでできるんですか？

真田 孔明：

昔、野村のファミコントレードみたいなの。ファミコンって結構、次世代していますよね・・・あれね。プログラミングはできるわ、株取引はできるわ。ロボットを動かせるわ・・・あれで目覚めた人はいっぱいいると思うんですけど。

北野会長：

もう一ついい産業が一つあるんやけど、戦争産業いうて、ロボットを作るやつね。

メンバー：

あ、もう一つ聞こうと思ったのが、金とプラチナと銀で、銀が今、結構、IS問題でロシアとか何とか、空爆とかあって銀が上がるのかどうか。

北野会長：

銀は絶対に来ると思うとる。俺は昔からね、銀党のがやから。あれ、銀はね、金は消滅しないの。銀が一番何に使われるか言う・・・アルコールに使うと、アルコール消毒に。復活できんやろ？1回水に溶かしてしまったら。消毒薬から銀は取れんがやから。銀というのは、永遠に消耗するわけや。4~5年前・・・孔明さんに会ったようなときにね。

真田 孔明：

銀って、おっしゃってましたね。

北野会長：

そう。八十何パーセントまで利回りがよかった。一番僕の利回りのいいのは銀。いまだかつて銀の夢を見ている「ギンギンギンギラギラ」言うて。そういう夢を見とる。また銀上がってくれんかなとかさ。だから、いつも買うのは銀。

真田 孔明：

下がったら買う。

北野会長：

あれ今、楽天で銀のETFみたいなやつがあるから。あれを買う。俺は銀しか買わないの。金はやっぱりベットの下でこう・・・金は殺菌力があるから、下に敷いて寝ると、わかった？金を下

に敷いてその上で寝ないと、お前金持ちにならんやろ？俺が寝ても、金はピカーピカーと光っとるわけやから、そうやろ？

真田 孔明：

本当に敷いたんですか？

北野会長：

敷いてあるよ。

真田 孔明：

延べ棒ですか？

北野会長：

延べ棒。

真田 孔明：

おっ、これは新しいジンクス。

メンバー：

また、金策から始めないと 笑

北野会長：

ワシカタカが知らんけども、うちの事務所にこんな手を広げたやつがあるがやて。天皇陛下のところにも入っているし、うちにも入ってるんやけど。うちのは鉛の・・・でも、金でベカベカのがや。

真田 孔明：

一見、何億もありそうな。中身が 笑

北野会長：

そうそう。中身が。でも、パッとそれを銀行が見ると、「会長のところ、ピカピカのものが多くですね」みたいなことになるから、玄関からバイオリンを弾く少女の銅像があったりさ。いっぱいあるの・・・そんなの。事務所中を光らせておけば、銀行も見たときに、「あ、この人、金、余っとるのかな」と、そう思うやろ？この時間差攻撃を利用したいなと思って、キンピカを一杯並べておるわけ。

真田 孔明：

ベットの下にある金の延べ棒はどこで購入されたんですか？

北野会長：

うちら、うちのところは金加工がものすごい多いところで、金の・・・要は製作所、金を使うやろ。仏像でも、金を型に流す。そうすると金の仏像ができる。中から。でも一見は飾りやから。だから、無造作に置くと重いだけのものや・・・金が。カギをかけると、泥棒が取りに来るわけ。カギをかけると泥棒が狙う。そこに入っているなと思うやろ？無造作にこんなところに置いてあったらさ、金でも、なんやこら、金みたいやけど、偽物やなと思わない？だから、それは人間の心理さ。金でも、例えば木の葉を隠すには、どこへ隠す言うたら、昔から森へ隠すって言う・・・同じなの。木の葉は森へ隠せば一番目立たん。森にはいつも葉がたくさん落ちとるから。40回、俺、パソコン打てるという人の方がすごい。うちの孫もね、本当に早いよ。早い。本当に。俺のこの指1本ではね、疲れるがやて。だから物は考え方。金もチビチビやることもチビチビ。日掛け、月掛け、心掛け。まめによいしょに、プレゼント。

メンバー：

そういうことですか。

北野会長：

お前ら、本当にまだ初歩的なところが何か・・・

メンバー：

僕は、本当初心者です。

北野会長：

俺から見たらね、そこら辺のノウハウはほとんどの人が知らんと思う。だから、皆さんが恐らく考えとる頭が、飛び方が全然違う。ポカーンて飛んどるんやて、俺の場合は。皆さん、こうやって積み上げる。俺は高にバ〜ン。競売物件が出てからいうて、孔明さんにすぐ会社注文するタイプやからね。俺がさ、会社の登記簿謄本から勉強したって、どうしようもないやろ？できる人に頼むと・・・仕事は。こういうタイプなんやて。自分は毎日、船に乗って遊んどっか、ハワイで遊んどる、酒を飲んで。これが仕事なんだから・・・書いたるやろ？趣味はお仕事、道楽は貯蓄。だから、考え方をどこに持つかだけで。簡単やろ？

メンバー：

はい。

北野会長：

物件を買い集めて、あんたがやっとなるシステムに乗れば、隣の人やったっけ？

メンバー：

Airbnb。

北野会長：

そうやる？こんないい方法も・・・今日だから、金が降っている夢を見るの、簡単。だから、金儲けっていうのは人に聞いて、自分てのは発想だけでええが。昨日、その前の日に飲んどったやつが、俺に「競売で安い物件がありますから、1,000万ほどしか儲からないんやけど」みたいなこと言うから「おし、わかった」と。それバラバラと集めてさ、買っておこうと。こっちでほ4%しか払わん言うやろ？日本で引いたらコンマ5か6で行けるから、俺なら。また銀行にさ、お願いしますみたいなもんでさ。今ね、皆さん、これも言わんといかん。シンガポールに日本の銀行がみんな出とる。これは日本の政策なんやて。これは日本で貸し出しとっても、銀行は銭が儲からないやろ？大手3行はもう全部営業やとった。それに今、地方銀行も相乗りできるわけや・・・みんな営業所を作って。金っていうのは、金が一番楽のがやて。金を動かすことが一番、金儲けが早い。だから銀行が一番。それで、張ったりはどうやって言うとするかいうたら、日本企業が育つように自分たちは支援しとるんやと、そんなことを言うとするんや・・・全くウソ。こっちへ来たら、日本企業にもチャラチャラ貸して、4%で借りとする人に・・・そうやる？俺みたいに、コンマ5ほどで貸して、まだ「安くしれくれ」みたいなことを言うが4%ただのり。俺はこの間、ある銀行の支店長に「お前ね、見込みあるやつやから、シンガポールの支店長になれ」と。「何ぼでも俺、借りてやっから」ここは給料がいくらぐらい？ここの給料。あんた、どのぐらいだと思う？

メンバー：

マレーシアですか？

北野会長：

ここ。

メンバー：

10万とかですかね。

北野会長：

10万？そうかな？

メンバー：

全然わからないです。

北野会長：

俺も。

メンバー：

12、3万ぐらいな気がしますね。

北野会長：

シノちゃん（店員）一つ聞きたいことあるんやけど。ここであなたが雇っている人の給料っていくらぐらいなの。税務署じゃねえから、一言だけ答えを教えてよ。

店員：

ローカルの方？

北野会長：

ローカルの方。

店員：

ですよ？彼らは高校生なんですけど、ちょっと高い、時給は7リングぐらい。

北野会長：

7リング・・・

店員：

5リングぐらいが相場らしいです。

メンバー：

160時間働いたとして、3万7千円ぐらい。

北野会長：

大体ここら辺で働いたら、この例えばジョホールバルの市役所に勤めたら、高校卒、大学卒でいくらの給料もらえるの？

真田 孔明：

給料は意外にでも高いつて。何か5,000リングとか15万とかそのぐらい・・・マレーシアって高いんですよ。

メンバー：

大卒は高いの？

真田 孔明：

相場が高いんですよ。だから日本企業の工場が撤退しちゃったわけです。みんな・・・高いから。意外と高かったと。しかもさぼるし、すぐにお祈り行っちゃうし。

メンバー：

15万なら確かに・・・

真田 孔明：

安くはない、マレーシアは安くはないです。シンガポールと比べると安いから、バックオフィスとして使っているやつが多い。何か生産させるとか、そういうのは向いていないみたいです・・安くはない。やっぱりメーカーはね、中国、分散させるのであれば、フィリピン、インドネシア、タイ。

メンバー：

カンボジアとか。

真田 孔明：

あそこらへんまで行くと過去の履歴がないので、優秀なスタッフが居ないんですよ。何だかんだ言って中国優秀なスタッフ多いので・・生産だと。だって、僕、電話1つで何でも作りますよ・・商品。サンプルさえあれば。コピー、フルコピー。

メンバー：

この洋服を作ってくださいっていったら。

真田 孔明：

洋服はね、また違う・・専門外。洋服はあっちのほうだから、上のほうだから・・南のほうは成型物。

北野会長：

今メール入ったね、孔明さん、その辺の情報を。

真田 孔明：

会長は明日、お時間ありますか？

北野会長：

ある。ある。

真田 孔明：

明日の朝は、何時ぐらいのお時間がいいですか？

北野会長：

俺は大体9時過ぎには起きるから、今日も9時半ぐらいには起きたね。

真田 孔明：

弁護士オフィスに一緒に行って、話を僕が通訳しながら聞きます？そして、リスクとかいろいろあるので。

北野会長：

何の？

真田 孔明：

例えば、マレーシアの会社を、今の時点だと、100%最初、マレーシア人でシェアを持って登記をするんですね・・・会社を。その100%マレーシア人の会社で、オークションに行かないといけないんですよ。会長のお金は指定した弁護士事務所の口座にお金を入れておくわけですけど、それで買うわけですよ。買うのに成功したら、そこでオーナーを代えるわけなんです、100%。もう一つのリスクは、オークションとしては2部屋しか出ていないみたいなんですよ。あとは、セカンドハンドって言って、そっちのほうが高いみたいですね。セカンドハンドは誰かの転売ですよ。オークション自体は銀行・・・取ったオークションは2部屋しかないみたいですね。それが最低価格からもちろん、向うは始めますけど、いくらの場合でマックスだったらそれ以上、買わないっていう指示を出さなきゃいけないですよ・・・そういうやり方で。でも、それ以上になって、買えなかった場合、この会社は潰すときにお金がかかったままもっていないですよっていう。

北野会長：

1つ、2つ買うんじゃないくて、たくさん買い込もうかなと・・・

真田 孔明：

オークションとしてはここみたいです、まずモレックパインに2つ。

メンバー：

オークションって？

真田 孔明：

競売物件、クアラルンプールの・・・銀行オークション。

メンバー：

大体いくらぐらい？。

真田 孔明：

会長が買ってから教えますので 笑 。ライバルが増えちゃう 笑

北野会長：

わかった？この発想だけ・・・重要。俺が最近ね、文章を読んどってさ、やっぱり文章書きは、はしかいなと思って。ついこの間まで疎い奴と思ったのに・・・最近ね、はしかい・・・本当に。

真田 孔明：

会長の毎月これ教えていただいているから・・・。

北野会長：

本当にすごい。孔明さんから見たらこうやって捉えられるんだなっていうところにドキっとすることがいっぱいある・・最近。俺の場合は、酔っぱらって物を言うタイプやから、知っとることを立て板に水を流すように言うやろ？でもね、酔っぱらって朝、起きると何を言っているかほとんど覚えていないの・・本当に。その分ね、皆さんと違って、新しいものがジャーいうて入ってくるわけ、新しい情報があれば。古いことは全然覚えとらん。やっと自分の名前を書ける程度・・アルツハイマー。過去は皆さんが勉強してきた・・俺はだから未来を勉強しとる、格好いいやろ？未来を勉強する。俺には未来しかない。過ぎ去った過去なんて気にする暇はない。どんなバカでも雪道を歩けばさ、足跡は残っとる。普通の道路を歩いても足跡残っとらん・・それと同じ。だから、俺は未来に向かって歩くんやて。白いキャンパスを歩くんやから、新しいものを作っていきたい。

メンバー：

自由に歩いていくんですね。

北野会長：

そうそう、自由に自由に。みんなほ、腹ごしらえもしとけよ。

メンバー：

お肉頼んでも大丈夫ですか？

北野会長：

頼んで、頼んで。

メンバー：

すみません。枝豆をもらえますか？ずっとここ食べていなくて。

北野会長：

本当 笑 食べられ。食べられ。一番大事なのは腹ごしらえやから。若いうちは入るんやて。65ぐらいになるとね、余り入らないね。入る量が流動食 笑 流動食は入るね。あれはね、何杯でも入るね。毎日いつ寝たのか、いつ起きたのか・・でも9時半ごろになるとね、なぜかパッと目が覚めるがやて。起きるたびに、あ、昨日、何時まで飲んでいたか全然、覚えてない。昨日、何をしゃべったかかも全然。全然。何か聞いたけど、どう答えたのかまではっきり覚えていない。これはいい加減かもしれんけど勘弁して・・そのときは・・

真田 孔明：

相手の弁護士事務所に行ったほうがいいですよ？様子を見に・・どういうところか。

北野会長：

そこら辺は任せるわ。あんたの段取りに合うから・・全て任せます。

真田 孔明：

何時ごろ出発だと・・・。

北野会長：

9時半以降やね。

真田 孔明：

9時半だと大丈夫ですか。

北野会長：

大丈夫。

真田 孔明：

9時半に、またエントランスでいいですか？

北野会長：

ここまで言うて、9時半に起きられる？何かヤバそうや。今日、マッサージしながら「姉ちゃん、オイルマッサージにしてくれ」言うて、寝とって、あの話、どうやったらこなせるかなと思ってマッサージ屋から出て、孔明さんに「会社作って」これぐらい早いんやから。

メンバー：

翌日には、手配されてできちゃう。

北野会長：

明日行って、サインしてくれば、またマレーシアに俺の会社ができる。金儲けっていうのは、だから、後で考えりゃいい・・・本当。俺流に言うとおい、みんな、遠慮せんと食べて行けよ。

メンバー：

いただきます。

北野会長：

ほとんどが俺、さっきマンションをレンタルしたら。あんたが言った？。あんたがエア何とかで・・・そうやる？その話を聞いて、とりあえずマンションを買うのも悪くないなと思った。別にさ、俺がさ、シーツを換えるわけじゃねえから。どこか1人雇ってさ。お願いします言うておけばうまくいく。

メンバー：

日本でもやっぱり今やっている人が儲かっているっていう話を聞いて・・・買う必要がないらしいんです。賃貸で自分が借りたものを。

北野会長：

これね、一番いいのは又貸しのがやて。

メンバー：

こっち、ユッケチャンスープとご飯を頼みますけど、同じの食べる人いますか？

北野会長：

結局、今その話を聞いただけでも、エア何とかよりも本当はハワイでもそういうことできるんやろ？本当は。

メンバー：

ハワイもあります。

北野会長：

ハワイの場合はほ、何をしとってもね、ハワイの会社が儲かっているのに、さらにここを高く積み上げると、税金が増えるだけで何のメリットもないんやて・・・俺から言うと。だから貸し出しはしないの。あれを自分で使っとるから、また、経費になっとる・・・電気、水道、ガスが。あこでまたほ、洋服をやっとるんやて。洋服をハワイで買って、中国へ送っとるだけなんやて。全然中身なんて知らない。ついこの間まで、スワロフスキーいうの、あれを中国へ送って、バックに入れて、訪問販売をやっていた中国で。ところが、スワロフスキーやろ？中国のおばさんが金持ちのおばさんは「ああ、素敵、5カラット、私、60万で買いたい」みたいなことを言うて売ってきましたよ。俺は詐欺商売やなど、何年間やったけど、こういうことをやっとるといずれば所轄にやられると。最近ほ、レットルもんちゅうのかな。

メンバー：

レットルってブランド物のことですね。

北野会長：

ブランド物を。

メンバー：

レットルっていうから悪いものかと思いました 笑

北野会長：

ブランド物を流すと、いうところにチェンジ。

メンバー：

ブランド物を中国で売るときは、やはり訪問販売で売るんですか？

北野会長：

そうそう。

メンバー：

洋服も訪問でやっているんですか？

北野会長：

ノルマはないが売れた人に金をバックするだけやから。俺、資本主義社会の資本やから俺が。資本は出すけど、ピンハネだけするゆうタイプ。人や雇った給料を払わなきゃならんやろ？儲けたい人はバンバン儲けていてくれと、これでいいわけよ。

北野会長：

これぐらい僕の場合は手早い。もう本当に会社1社、瞬時に買うような男やからさ。ショッピングモールとかさ、あれはいっぱい持っとる。あれば本当やけど、自分が作ったものでないやて。ショッピングモールが売りに出たというか、経営者と飲んどったら、何か買ってくれみたいなことを言う。酔っぱらっとるから「社長、いくらなの、それ？」何パーで利回りあるのみたいなことを聞いてさ。利回りが良かったもので、ショッピングモールも一つ買ったらまたショッピングモールの親父が俺のところに来て、あなた、あそこ買ったんでしょ、みたいなことを言うて「おうおう、買った、買った」うちも買ってほしいんだけどって「お前のところ、いくらや？」って言うたら、「これだけなんですよ」「よし、銀行から弾を引いたら買ってやるわ」本当にこういうバカげとる。人に言うのは恥ずかしいんやから。それでまた支店長にさ、俺は今度こっちでまた買うから、俺のところへ弾を出せよと。家賃は全部、俺が取るやから。返済もしない利息だけ。チビチビと。これしかない。ちょっとでも戦争になったら全額、返すわい。すぐにこうやって足をだす。最近俺は言う、支店長に「支店長、俺が返したら、あんたは売上が減るんやから。あんた、それでもいいの？」みたいなことを言うたら、支店長はまた嫌がるんやて。俺の場合は利息で手形をずっと転がそうと。みんなで渡れば怖くないと。あんたのところの銀行も俺みたいなやつとつき合ったらば永遠に金利入る。新しい貸出先なんていらんのやと。どんどん俺のところへ持って来いと。何ぼでも金利は払ったるから。余っとるのは金だけやから。

メンバー：

そんな身分になりたいです。

北野会長：

こう言うとな、また人間ちゃ信用するもん。余っとるのは金だけや言うとな、銀行も何か貸しやすくない？パッと銀行に会った瞬間にさ「済みません。俺、もう金がないもんで、資金繰りできないもんで金、金、何か貸してもらえん？」お前、銀行やったら貸すか？

メンバー：

貸しませんね。

北野会長：

そうやる？

真田 孔明：

初年度からやっちゃいけませんね、これ 笑 「余っているのは金だけだから」年数が違うんですからね。積み上げて・・・将来に言えるってことです。普通に淡々と前のめりになっても後ろのめりでもダメ、淡々と。1年に1回、決算書と一緒に草加せんべいを持って行ってください。豪華すぎないように。

メンバー：

さっき孔明さんに言われたんです。僕は見た目頭良さそうに見られ・・・

真田 孔明：

インテリに見られすぎちゃって・・・

メンバー：

嫌われるから、君はつなぎをまず買って、つなぎを1回、地面に埋めて、ボロボロにしたつなぎを着ていくと。

真田 孔明：

挨拶と計算書・・・初年度で言い過ぎちゃったみたいで、多分2,000万だったのが、どんどんどんどん減っていったって1,100万になっちゃったんですよ。

北野会長：

融資っていうのは、そこが問題のやて。まず、どういう支店長かっていうのをまず見抜かないと駄目やから、ここが一番大事。支店長も人間やから。でもね、皆さんが知らんのは、支店長は金を貸せば貸すほど成績が上がる。これだけ知っとれば、我々は企業として金を借りる。借入金、銀行は売上やから。だから、いつも言うところ、俺は、何で今日ここに来とるかいうたら、支店長の売上を上げるために俺は生きとるんやと。全てはあなたのために俺は生きとる。あなたはどんどん金を持って来いいう、遠回しに言うところだけ。結局、明日10時。9時半ね。

真田 孔明：

はい。

北野会長：

俺は時間にあんまり遅れたことのない男や。いつも約束は5分前に・・・本当に。だから、昨日も大体、孔明さんの場合は気を遣っとるから・・・俺が10分前にはいつも到着しとる。彼は、さらに「ちょうど玄関に会いました」「ちょうど来たところですよ」うまいこと言うんやから。この言い訳上手やから・・・詐欺師と一緒にやから 笑 孔明さんの場合は、何千億でも引けるタイプ。あとは、孔明さん、会社を作って、買ってけば・・・キャッシュでまず競売物件を落として、

銀行にそれを担保にかけさせて、ここは駄目、シンガポールに来ると銀行から弾を引かんと。そっちに来た？みんな？（料理）だから、それを担保に・・・あのねここが大事なやつて。金がないのに金を貸してくれみたいなことを言うと、相手は嫌がる。まず会社が担保入っていますか、そっちの物件担保入っていますかって？「全部、キャッシュだから」みたいな事言うたら、これ担保に入れば金を貸せるやろ？銀行は。簡単なんだよ。あんたのやっとすることはこれで85%引きました。これも85%、こうやるやろ？真田孔明は、借金まみれやなと思うわ。俺みたいにさ、逆に「あれもキャッシュで買ったから」みたいなことを言えば、この人は資金量が余っとると見るわけ。そうすると、支店長が「社長1回、夜出ません？」かみたいなこと言うから、よしよしと。相手がそこに乗ってくるが絶対に。マンション2つでも3つでも持っとしてみよ。借金はないのが借金で、これが銀行を落とす最高の言葉。ないのが借金・・・この一言で銀行はね、フラッと来る。

メンバー：

ないのが借金。

真田 孔明：

本当にすごいね 笑

北野会長：

「今日は本当に暴露します」この一言で相手は信じられる。預金もそんなにないけど、貯金通帳に買った銭、全部入っとるやろ？ものすごい残高があるんやから銀行は信用するわな。わかる？詐欺と一緒にやで、あんなもん。預金、全部さ、貯金通帳に入れて見せれば、相手は楽やわな。そんな金持ちのやから、僕を踏み倒すことはないと。最近は肩が軽いもんで、孔明さんと一緒に。借りたお金は金利は先払い、先に持って行けと。新しい小切手をうちから切るから。

「1億持って来てくれれば、50万か60万、小切手切ったる」後は、ずっと永遠にね、長い付き合い。人間は昔、吉永小百合が言うたんやから。大原麗子やったっけ？細く長くつき合ったらいい。細く長く。「ダンダンダンダン」何か、ウイスキーか何かの宣伝で大原麗子が細く長くつき合ったほうが銀行とはね、いいんやと。だから、僕は元本を返したら縁がなくなるから、なるべく利息だけで細く長く死んでも払うよみたいなことを・・・こっちに新しいの入っとる（酒）君は酒を注ぐためにそこに座っとるんやから。

メンバー：

気を付けます。

北野会長：

後は、何かわからんことあったら聞いて。

メンバー：

私生活のことなんです、よろしいですか？

北野会長：

指定株？

メンバー：

私生活のことで夫婦生活のことで、よろしいですか？。

北野会長：

夫婦生活。

メンバー：

奥さんがまだ経営者的思考がまだ全然、私もまだまだですけど、やはり普通のサラリーマンの娘で生きてきたので、この前、ふと言われたのが、まだ子どもはいないんですけど、子どもが出来た後とか、将来がすごい不安だから、5万円を定期貯金したいと・・・毎月。毎月毎月定期貯金して何かあったときに貯めたいって言ったんです。そしたら、私たち、お金について会長に教えていただいた身分としては、5万円が毎月あったら、それを居合抜きしていったほうが遥かに定期貯金の利息よりも稼げるじゃないですか？でも奥さんにそれを言ってもなかなか理解してもらえなくて、そういう奥さんをどう説得したらいいか。

北野会長：

ああ、説得かい、簡単やないかい。あんたが説得するのは簡単。俺はお前が5万円言うけれども、俺はもう2億5,000万から3億ぐらいは毎月、積み立て・・・毎日でもできるんやと。精子の数やから、お前ね、金だけが銭じゃないよと。愛の重さは、これは毎日2億5,000万から3億は払えるんやからと・・・これでパンと決めなきゃ、あかんでしょ。

真田 孔明：

でも5万円ぐらいただったらやってあげなよ、それ。

メンバー：

もったいないんですよ・・・できるんですけど。

真田 孔明：

それ以上に稼がないと。だから、そこで男がギブしちゃったら、そこで器は終わりだと思うんですよ。

メンバー：

それぐらいなら。

真田 孔明：

要求に答えていかないと、完璧なまでに。

メンバー：

それぐらいなら、やってやるよと・・・別に稼げばいいということですか？

真田 孔明：

奥さんへの銀行口座と、毎月の振込みは最優先にしてあげたほうがいいと思うんですよ・・・僕は。

メンバー：

奥さんへの振込みは、毎月やっているんですよ。それ以外であと5万円って言われたんです。

真田 孔明：

いいじゃないですか、頑張ってください。

北野会長：

だから、妻の言うことはいつも書いていない。「はい」と「です」以外は言わないと。そうでしょ？言うたら、そうです。

真田 孔明：

だって、上司からノルマを達成してこいっていうのも、もっとひどかったもん。

メンバー：

「あと5万やってこい」と言われたら・・・

真田 孔明：

一緒、一緒。それがないと、やっぱり僕たち、労働者として育っているから、頑張れないと思うんです・・・最初は。

メンバー：

これ説得しようとしたのが間違いですね。

真田 孔明：

そこで器がね、ちょっと微妙に5%減っちゃっているんですよ。5万円で・・・

北野会長：

そこら辺がやっぱり大事なところや。一番楽なのは「射精で1回、3億ずつお前に投資しとるんやから」と「精子3億数えてみい」と、3億。円じゃないけども、お前、そういう5万円とかセコイ話はするなと。俺は毎日、お前に3億ずつ投資をしとるんやからと言うだけでも、嬉しいもんや。明日も頑張るぞ！みたいなことを言うときゃさ。俺なんかほ、歳、嫁はん二つ上やもんで、余り文句を言えない。

メンバー：

私も一つ上なんですよ。

北野会長：

本当。そうでしょって言われたら、いつも夫婦ケンカは嫌だから「そうです」って言うがやて。
「あんた、あれしておいてね」「はい」。「はい」と「です」以外はなるべく単語は使わない。
これがね、家庭円満の秘訣。「はい」と「です」以外は言わない。右を向け言うたら右を向いていればいいし。左を向け言ういたら左を向いとればいいんやから。

真田 孔明：

でも、奥さんはそれはもっとあなたならやれるよっていうことを言っているんですよ。もう5万円分頑張れるよと。あと5メートルダッシュしなきゃ、部活と一緒に。

北野会長：

そっちの人も何か質問がある人がおったら、2人ぐらい座れるから。順繰りに・・・質問がある人がおったら。

メンバー：

居合抜きやらしてみれば？

メンバー：

奥さんはどうしても抵抗が・・・

真田 孔明：

奥さんに、やらせないほうがいい。

メンバー：

奥さんは完全に・・・

真田 孔明：

自分でやらないタイプ？

メンバー：

創門系の方なので、多分、言われたとおりにできないんですよ。

真田 孔明：

でも、「今日は上がるんじゃないかな」とか言うと、「来週まで待ちなよ」とか言ってくれるんですよ。

メンバー：

ああ、そういうのはあるかもしれないです。

北野会長：

i Padあるやろ？まず、あんたが買っておくが。そんでね、嫁に言うがやて「悪いけど、プラスになったから売っというてね」って、こう言うが。ところが女ちゃね、子供産む程やから、あれまた増えると喜ぶんやて。なぜか子どもを産んだ経験があるからさ、何か財産が増えると喜ぶがやて。金が今度、自分の分身やと思うやから。だから、間違い、気違い、勘違いって怖いよね。最近、うちの娘でもさ、パパよりも何か、俺よりも超えたって。

真田 孔明：

また。みんな言い出している 笑

メンバー：

お嬢さんだけじゃないんですね 笑

北野会長：

ボタンを押して・・・押すだけでさ、18万、20万儲かるんやから。かっぱえびせんと一緒や・・・やめられない、とまらない。だから、これがうちの家庭には根づいとるわけよ。だから、俺はいつも皆さんが幸せになるようにと、みんな抜けたら i Padへ入ってくるわけよ。ハワイで抜いたとかさ・・・孔明も抜いた。みんな抜けばいいというのが、俺の物の考え方。後は、覚えといて。鼻歌を毎日、歌うこと暇やったら。落ち込むから・・・人間は。だから鼻歌でも歌ってさ、歳いっとるおばちゃんを見ても、お嬢さんと声をかけてさ。ああ、おしくなくても、おいしかったよと。少しのチップやけど置いておくよみたいなことを、何か金持ちやろ？スタイルが。

メンバー：

奥さんではなくて、飲食店でやると？

北野会長：

も一緒。俺は毎日、朝起きてパッと目が合うやろ？必ず・・・目がボヤっとしっとけど、ここに嫁はんの顔があるがやて。俺はブワッと起きるがやて、必ず言うがやて。「今日も綺麗ですね」って・・・俺も44年間ね、この単語を忘れずに言うてきただけでも、うちの嫁はん言うには「あんたほどのウソつきはおらん」って 笑 俺はだからいつも言う。「お前と結婚してよかった、今日も綺麗ですね」って言うがやて。それがね、嫁の目を見ると、目が下がっとるんやて、これはなぜか嬉しいのね。だから人間って案外そんなもんやて。

真田 孔明：

そうですね。

北野会長：

でもね、言わんよりね、言うたほうがいいよ。愛しているなんて100回言うても税金はかからんしさ。ただ言うだけやから、補助金のお金と一緒に言うたほうがええの。その次に言う言葉か必ず「愛しているよ」まず綺麗ですを最初に持っていく、後は愛しているよと。たまに夜の延長で、結婚を前提にお願いします。「え〜？誰に言っているの？」って

真田 孔明：

間違っって行っちゃった？ 笑

北野会長：

これがまた飲み屋行くとね、必ず手が先に出てさ、足を触りながらさ「おい、かわいいの、結婚を前提にお願いします」みたいなことを言う。10回ぐらい言うがやて。でも、ここら辺が商人やから。かわいい、綺麗、結婚を前提にやる？そう言われて怒る女はおらんやろが？「よし、今日はお前の代行代も俺が払っとくから」みたいなこと。出てくるときに払わなくても、気持ちだけでも人間っていうのは嬉しいんやて。これから出たのは、言うだけタダの乞食のお買い物やて。言っただけや。言っても、人は幸せになれるが。だから、鼻歌を歌いながら「おう、銭余っとるから」そしたら楽やろ？・・・気が。何か全部、俺が払ってくれると思わん？その瞬間に・・・「余っとるのは銭だけやから」こう言うと、人の気が楽になるわけよ、これが俺の特質やないかい。銀行にも「支店長、本当にね、失礼やけど、貯金通帳、見たかったら見せてあげてもいいが、余っとるのは銭だけやから」全部借りたゼニやぞ・・・俺は。全部借りたって。自分の銭は全くない。返さないからさ、借りた分ずつ増えていくわけよ・・・わかる？でも利息を払っとるやよ。だから、清く、正しく、美しく。日本の経済を回すために黒田先生と僕は一生懸命、借金を増やして経済を動かしとると・・・ていのいい言い訳やろ？

メンバー：

日本国のためにお金を回されているっていうことですね、両方とも。

北野会長：

だから、ほとんどは考え方としては、ボランティア活動や。女とホテルに行くのも、ホテルが暇やったら困るやろ？お嬢さんも、お金を財布にあげんとないやろ？だから、ボランティアでやっとるわけよ。全ては俺の言い訳やけど、「あんた、口紅ついとるんなかい」って言ったら「これは君、ボランティアなんだ」って嫁に言うと、え〜？みたいな。ここでパッとボランティアっていう単語が出んやろが？今からこの単語を1個で全部処理できる・・・ボランティア。

メンバー：

朝帰りしてもボランティアしてきたと。

北野会長：

当たり前やろが、朝までボランティアしとったと。

メンバー：

一晩中やってきたと 笑

サッチェル：

今日は、7,000万稼いできたと言うと。

北野会長：

今日の情報でアフリカ大陸を全部、買えるかもしれないと。これぐらいまではったりを言えばさ、人間ちゃ・・相手も引くがやちゃ。本当は仕事をしてたんでないかって。だから、そこに間違い、気違い、勘違いが生まれるよと、ここに繋げるところが上手やる？俺のイロハは全然、違うんやから。そういう具合に覚えとってくれば・・みんな、腹ごしらえした？

メンバー：

会長、iPadを3つ使ってるとおっしゃって・・。

北野会長：

あれね、iPadは、まず、自分の持っとる銘柄を表にしとるのを前に置いておくやる？ファイナンスのあれ自動的に変わっていくやる？

真田 孔明：

ファイナンス、ヤフーファイナンス。

北野会長：

ヤフーファイナンスで。それでこっちの画面は、楽天の画面につなぎっぱなし、それでこっちは何に使うかというと、利回り・・利回りを計算するの。

メンバー：

計算機。

北野会長：

計算機、こっちは計算機さ。頭がセンチンピーやから、計算機がないと計算できんわけよ。例えば、投信が下がったと。この間、ハワイで言った60%、利回りあれば、こっちのほうを押し たほうが早いんやから。書いてあるやる？250円×12カ月。3,000円を割り算せんといかんが やて。四千七百何十円で。だから、何%かって利回り。だから両手は動く。だから画面を見なが ら考える・・働く必要なんてないいうて、だから動くな、働くなって言うとのに、お前ら、 必死に働いて貧乏しとるだけ。

真田 孔明：

今日も忙しくて来られないメンバーがいっぱい。

北野会長：

そうやる？だから、一体何を考えて・・・金が欲しかったら、銀行から取ればいい。自分で働いて儲けようなんてね、そのバカげた考え方をまず捨てないとあかんの。金は貸してもらった貸して、もらった言うぐらいやから。

メンバー：

貰った。

北野会長：

貰ったやで。だから元本を返したらもう負け。いかに元本を返さんと生活できるかや。永遠の金持ちやよ・・・俺なんか。だからいつも支店長、コンマ0.5でお願いねみたいなことを言うてるんや。1%やった金利が今度、徐々に下がって、今度どこかの銀行がコンマ8「あんたのところはコンマ7？」次コンマ6や、コンマ5や。そこで勝負をする・・・するがやて。今度、高いところからバンと「支店長、高すぎるから駄目だよ」と。何なら全額返済してもみたいなことを言うて、1回、返済したことあるから、銀行がビビるわけさ。このバカは、本気を出して、バンと返済に来ると。自分の売上減るだろ？だから、みんな怖いから「いや、いや、いや会長、うちも足並みを合わせていきますから」みたいなことを言うから 笑 やっぱり足並みは揃えたほうがね、北朝鮮の足を上げるみたいなもんでさ、足並みが揃うと綺麗やろ？いつもそういうが。そこら辺は、緩やかに誘導、誘導するの、スッと相手を。自分は絶対に動かない。自分は株と一緒に中立。相手を動かす。自分は動かない、相手が動く。それをサラッと・・・これが俺の主義やから。主義主張を言うて失礼やけど、だから事業なんかが看板、金儲けは株でしとっと。でも看板を持たんとみともないから、何をやっているのじゃ、結婚もしていない、無職。ろくでなしみたいなもんや。それよりも、とりあえず代表取締役とかさ、書いとりたいやろ？

メンバー：

ニートですね、結婚もしない・・・いいと思います。

北野会長：

そうやる？ニートは、女も嫌がるやろがよや。やっぱり「何をやっているの？」って、「俺、ニートやから」バカ野郎、そのうちニートになってしまうぞって言われる 笑 そういうことになるんやて。だから、ここら辺はとりあえず、代表取締役という名刺を作る。できたら3枚ほど持ってらさ。TPOに合わせてさ、どっちにしようかなみたいなもんで・・・会う女に別々に与えてけばさ。

メンバー：

一番ウケそうなやつを 笑

北野会長：

ウケそうなやつを。話してニュアンス、こっちは文系やなと思ったら文系の会社、理数系やなと思ったら、理数系の会社・・・わかった？人間は手を持つとるんやから、いかに使い分けるか。頭も使い分けんといかん。軽く使い分けることが大事。こだわる必要はない。こだわるのは人間関係をこだわればいい。いい人間と出会えば、俺はだから一番いい人間やなと、銀行の支店長が来たとき、俺はすごい、いい人間関係を作りたいなと思うわけ。必ず言うが・・・最後に。

「俺、金を返す器量はないから。支店長、俺は金を返す器量はないんや。ほかの銀行さんにもみんな利息だけにしてもらっとるんやから。支店長もそれをお願いできんやろうか？」と。でも僕の貯金はこれぐらいあるんやから。この株式も、ちゃんと俺の口座には小さいやけど、最低3億はいつでもおるがやから、3億あるんやから。これを見せると、みんな相手が楽になる。この人は、金が余ってる。だから、言うんやて「支店長、余っとるのは金だけやから、だから利息だけで勝負しよう」言うて。というのを短縮形で言うと相手は嫌がるから 「返す、返す言うとっても返せんこともあるから。お互いに支店長ね、金利先払いでバンと50万払うから。1億は来年になったら、金利が変わるかもしれん・・・変わったら困るから、俺は先払いで払うよ」こう言えば支店長は先に売上は立つ、利益はパカンと入るこれ。あんなもんだの神やぞ？どう。あんな支店長やったらどうや・・・嬉しいやろ？1億借りてやぞ、キャッシュでお前、50万をバンとくれるがやて。

真田 孔明：

たった50万 笑

北野会長：

孔明さんみたいな恐ろしい者おったら俺もやめるわ、融資いらなとかさ。これヤバイよね？今のこの一言ね。俺の人生を刺しにきとるような言葉 笑 そう思わんだ？たった50万で・・・そうじゃないやろ。お前、道を歩いてさ、50万を探して来いよ。落ちとらんぞ。

サッチェル：

確かにそうですね。

北野会長：

そうやろ？お前、見た瞬間に50万パンとくれる者おった？

メンバー：

いないです。

北野会長：

そんな女とつき合ったことあった？ということは、いかに銭は大事なもののか、60万にしたら月5万円やぞ。日掛け、月掛けでかけていけばやぞ、あんたが5万円貯蓄するんだったら、俺に言わしてもらおうと。

メンバー：

まさにさっきの話だ。

北野会長：

5万円、嫁はんが貯金せえ言うがやったら、5万円で1億の弾を引いたほうが早いんでないかい
うことを言うてる・・・わかった？銀行の支店長が辛いときは、持っとるもの全部、あんたの
ところに渡すんやから。銭だけ取りに来るなって言うとりがやから。あんた1回ね、相手が納得
すれば、銀行も一番いいが。だから、みんなさっき言った東芝の話。東芝が今、初めて粉飾決
算したが・・・ウソやちゅうの。孔明さん、いわくは初代からずっとやっとなが。

メンバー：

おお～

北野会長：

相手に追求されたら「あ～間違ったかもしれんね」 笑 そうやろ？軽くパンと・・・そんなね
「あ、間違ったかな？」これぐらいでバンといかなきゃ、ここ言い訳したらみっともないか
ら・・・パンとね。袖すり合うも多生の縁みたいなこと。その瞬間は見えん。僕の得意技やから。
ここら辺は。だから、借りた銭はどんどん釣り上がる。後は全部、投資信託やら、情報だけ聞
いてそこにぶち込んでおきゃ・・・まだ店、終わらんやろ？びっくりした。おい、向かい片づけ
てとるもんで。

メンバー：

まだ9時です。

北野会長：

そやろ。

メンバー：

帰って、6時間飲めます。

北野会長：

あなたのお蔭で今日も僕は酒が飲める、幸せの本望や。だんだんだんだん肩も回ってきて、今
ごろ結構、酔うとらんがね。どうして酔いが続くがか・・・昨日おった？

メンバー：

いました。いました、夜。

北野会長：

夜？

メンバー：

夜もいました。

北野会長：

今、顔を見て何か見た顔やなと思って・・あ、そうか。昨日の夜いたか。ホントほとんどそんな。恥ずかしい話やけど、毎日さ、飲んだくれてマッサージに行くやる？そこで考える・・2時間。ぶっ通しで考える。ぶっ通しでフロッピーディスクを回す。どうしたらいいか、どうしたらいいか、どうしたらいいかや、自分に質問する。例えば、競売物件を買うときに、孔明さんにまず会社を作ってもらわんといかんと。後は入札のときに自分が動くの嫌だから、弁護士さんに買いに行ってもらわにゃあかんと。銭なんて借りた金でやっとなんだから、関係ない。ここの銀行で借りたら高いやろ？田舎の銀行で借りたら0.5か6や、海外やから。そうしたら、4%から0.5引いてみられが。

真田 孔明：

3.5%

北野会長：

そうやろ。3.5をタダどりするがやから。これがだから経済学さ。だから、さっき話したそっちに。（遠くの席のメンバー）エール大学の浜田さんの言ったユーチューブで流れているから、いっばいね。浜田宏一。

メンバー：

浜コウ。

北野会長：

浜コウじゃないんや。エール大学の教授の浜田さんという人がやっとなから、それをやっぱりとりあえず、そこをまず1回、検索。みんなネットできるんやから、お前ら検索してだな。

メンバー：

早い。孔明さんが。

北野会長：

白川が金融緩和をせんだが。だからずっと日本は、幻の20年ほど過ごしたわけよ。それを白川さんが印刷機をバンバン回せばすぐデフレを解消できますよってというのが浜田流っていう流儀なの。その浜田さんが好きな男がおったわけよ。それが反目を打った黒田さんいうて、アジア局長。あれ反目を打った、ずっと。それであれ、あんたらちに言わんけど、あれは追い出されとった、日銀から。あれ一番の劣等生やったんやから。彼、眼鏡をかけとって・・普通の日銀の総裁は、真面目な顔をしとったやろ。あの人はいつも。（会長が仕草を真似る）

真田 孔明：

こんな 笑。

北野会長：

そうやる、ほとんどニヤけとるやる。

真田 孔明：

僕がたまにカメハメハ・・・笑

北野会長：

本当にね、あの種族は全然違うんやて。ほんで、浜田さんと黒田さんが田んぼづき合いで一緒になったわけよ。黒田、浜田やる？田んぼづき合いで、昔から田んぼづき合いしとるわけよ。だから、あそこは重なりがあるわけよ。だから、印刷をやったら経済が直るよいうて舎弟の黒田に言うたわけや。舎弟は何しとっかっていうたら、印刷物でバンバン株を買っとるわけよ。だから、8,000円から2万円まで来たわけよ。マトリックスみたいなもんや、詐欺行為よ。本当は詐欺行為なの。わしらはだからそれを聞いて、詐欺の片棒をちょっと稼ぎながら、エッサエッサと働いてとるわけや。だから、この辺もいいけど、金いらん、金、バンって引いたら、電気、ガスは入れておいたほうがいい。130円ほどのSHあたり、あれも国が潰せんから。あれだけ借金あったら、失敗続きやる？でも、あれ清算になったら1億3,000万またパーや。買っとるうちちは、バンバン、バンバン。あったやる？ユーチューブに・・・

真田 孔明：

今、メモだけして・・・動画が遅い。

北野会長：

本当。それで孔明さんから動画配信するから。夜、寝ながらね、ユーチューブを入れとく、iPadで。この講演の話をずっと聞いとるわけよ。そして、脳が疲れたらぐっすり睡眠に入る。これぐらい寛大やからね。だから、金は使う必要はねえ。だから、言うとるやる？趣味はお仕事、道楽は？

メンバー：

貯蓄。

北野会長：

そうやるが。好きな言葉は？

メンバー：

節約。

北野会長：

節約。ぴったしやぞ。

真田 孔明：

会長がふわっと言っときに買う。ふわっと言っときに買う。130円代。170円まで行ったのが、また130円に戻っちゃったね。

北野会長：

ただ、これだけなのね、皆さんはわかっていないのは。俺はだから、初めて皆さんに会ったときもTの株やとかさ、ハワイでさ60%の利回りって誰もね、俺も信用される人格じゃないからかもしれないけど、誰も信用せんがね。上がる下がるから言うて、彼らは上がったところがほしいなと思う。俺はだから、上がるぞ、上がるぞ言うて、この間ハワイで何と11時半まで間違いないから、間違いないから言うてたのに誰も買ってないの。買ったのは俺。何と何億かは買ったんやで。ACを。3億ぐらい買ったのかな？俺はね、利益のあるやつが好きなんや、アイラブユーやから。嫁はんにも綺麗ですね。愛しているよ。サラっと言えばええ。嫁はんもあんた、この気違いの酔っ払いが、怒られたくないから、謝りの言葉で言うとなと思っとる、わかつとる。俺は必ず言うがやて「俺は全ては君のために生きとるんやから。私利私欲は全くないやと。自分でお金を使おうとかね、あなたがお金を欲しがるから僕はただ労働しとるだけ。だから、夫という字を書いてみと。さかしまにしたら、円と書いてあるがやて」

メンバー：

おー。

北野会長：

と言いながら、ウソをつきながら生きとる 笑 ウソつきとキツツキは親戚やから。キツツキとウソつきは親戚のがちゃ。AとBはイコールがやから。あれウソつきとキツツキともう1個、言えないけど今は・・・今度、教えてやる。結構ね、そういうものがあるんや。世の中には。だから、どうやって金を引いて、一番いいのは金だけどんどん借りて返さないこと。そしたら、例えば俺が飛んでイスタンブールになったら、一番誰が損すっか考えてくれよ、あんたらちやねえよ。もしもし。聞こえた？これ聞こえた？俺が飛んで一番損するのは誰や・・・銀行や。銀行の印刷しとるのが、日銀やて。そうやる？そういうことは国が損するわけや。だから、自分が生かされとるということや。金を吸うほど生きるわけや。返したらあかんよ。金、返してね、これほど無駄なことはねえから。例えば、1億ぐらいの話を・・・1,000万の話を。1,000万借金するやろ？あれ返済するがや。元本と利息。売上も1,000万しかなかったら、45%の角度でロケットみたいにして会社が伸びていかんと返せん・・・銭は。儲ければ税金を払わんのやろ？そうやって考えたら45%の角度がいるわけよ。頭がセンジンピーやけど、昔から聞いてわかつとった。どうしたら伸びられるか・・・借金しかない。だから、最初はね、最初の5年間ぐらいはきつぱ銀行に嫌われたね・・・返せないもんで。俺はだから、言ったとおり、元本は返せんと。「支店長、利息きちっと払います」これが俺の最初。

真田 孔明：
20代のころ。

北野会長：
そうそう、20代のころ。

メンバー：
20代で、そこいっちゃたんですね。

北野会長：
それでね、相手が攻めてくるやろ？簡単や。サラッと方向転換する方法があるんや。あのね、実印を落としたいうが。会社の実印を落としてないんやと・・・どんだけ銀行がね、取りに来ても取れないの。あれね、会社の実印がないと差し押さえも何もできないんだから、わかる？会社やから。払わんでも全然問題ないよ。「この間、釣りに行ってさ。支店長さ。実印を持ってポロっと落とした」笑

メンバー：
釣りに実印 笑

北野会長：
1キロぐらい潜れば探せると思うから、探してきてくれ。昔、俺に支店長が言ったの。社長、実印、何ならうちの銀行が作りますからって言うから。人に作ってもらったものはもらえない。俺は借金もあるんだから、そういうことはできない。あれがクセになって銀行も。ところがね、返済財源を貯金しとくやろ？返済せんやろ。返済資金あるがやから、これ貯金しとくがやて。これがね、五分と五分になったらお前、義兄弟やぞ。銀行と俺が五分と五分やから。返済する財源はあるや。五分と五分になったらお前、義理の兄弟みたいなもんや。俺はだから言うがやて「支店長に。これから俺が、俺が預金を増やすから、俺が銀行でお前は舎弟や」そうやろ？金の論理から言うたら。支店長は俺の舎弟やろって、お前は。だから、最近は舎弟に金を持って来いと。こう言っているわけよ。これが日本のやくざの発祥やて。

メンバー：
こっちで返されちゃったら銀行としては終わりですもんね。

北野会長：
そうやろ？

メンバー：
だから絶対に返されないように。

北野会長：

そうやる？結構はしかいね。

メンバー：

聞きこんでいるんで、音声は。

北野会長：

さすが。

メンバー：

初めてですけど・・・今日。

北野会長：

初めてなのにこんだけ知っているの？

真田 孔明：

音声で。

メンバー：

20回以上、聞いているので・・・全部。

北野会長：

本当？すごい。

メンバー：

やばい話喋ってるな、ピーって鳴ってる。

メンバー：

そこが聞けなくて、謁見楽しみに来ました。

真田 孔明：

ピーが入っていますから。全部にピーが・・・やばいところ。

メンバー：

会長のしゃべっていることは別に普通にピーじゃなくてもいいんだけど・・・。

メンバー：

俺が変なことをしゃべっているのは・・・

メンバー：

ユンボさんのは大体ピーになっているんですけど。

メンバー：

俺は、和みのために入れてる、ピーになっている 笑

北野会長：

人間っていうのは本当にね、考えようによって人生は昨日も言ったけど、人生は短けえの。皆さんが永遠に生きることはねえの。だから、人生は短いから、やっぱりいい人生を送らんとあかん。いいところに住んで、いい物を食べて、いい女が抱ければ男にしては最高の人生やる？金なんていうのは、銀行から借りて目いっぱい使って、あれは死んでもぼっかけて来んから。お前、銀行はさ、死んだやつから金取ったいう、一応、歴史上はやよ・・ないんやから。今のところは、今のところはないから大丈夫。だから、国のお金を使って人生を謳歌しとる。この考え方やと、別に1,000兆借金しても何の問題もないやろ？1,000兆、借金するやろ？利息を0.5やる。元本から返していけばいいんやから・・わかる？借りた錢から永遠に・・どんだけかかるよ？そうやろ？

真田 孔明：

0.5ですからね。

北野会長：

0.5やから。もうひどいもんやろ。もう200年、生きられる。コンマ5だと200年。

真田 孔明：

200年の間にお金の価値がなくなる・・次のやつに 笑

北野会長：

これを2011年に孔明に説明しとるんやけど、孔明がまたわからん言うがやちゃ。どんどんどんどんワインを飲ませるやろ？俺はもうへ口へ口やからさ、チョウチョ、チョウチョになっとるんやて、本当に悪いやつだわ。本当に。こんな具合にワインをどんどんどんどん注ぐやろ。後で見たら、あ、もう3本も飲んだなみたいなもんでさ。自分たちはほ、話を聞くほうにいっぱいはいやろ？俺、ずっと説明しとるんやよ。頼むよ、いい加減に。誤解じゃなくて、理解してくれるが、最近は必要やなと。ゴじゃないよ。理解。だから、6階に居ても1階下がれば誤解するがやて。俺は、4階におって、君の誤解はないよ。6階におっても、1階下がっても、君に誤解されるようなことはしていないと。例え、布団の中におっても必ず言う。まだ、挿入前でした 笑 わかった？これが大事なことや。これ、ギリギリですり抜けるんやから、そうやろ。「あんた！」ってこう言われたときに。

真田 孔明：

「あんた！」って言われたことあるんですか 笑

北野会長：

まだ、挿入はしていなかった。ちょうどこれから 笑 これも実践やから。これをパッと思い
つくの、俺の場合は。あのときに恐らく、脳に雷が落ちたように思うやな。そのときにパッと
言葉が出るんやから。

真田 孔明：

ご先祖様が守っている 笑

北野会長：

まだ、挿入前やった。まだ入れとらんで。そしたら、嫁さんも、まあまあまああっと・・・こ
れは難しいね。男の浮気は本気の始まりやから。君が今日、諫めてくれたおかげで悪い女に引い
てかからないでよかった。言い訳がそんなもん。サラっと言うだけタダ。うちへ帰ったら「今日
も綺麗ですね」と。

メンバー：

日めくりカレンダーだね 笑 今日も綺麗だねって書いた。

メンバー：

1月1日。

北野会長：

でもね、人間ってというのは、本当にそんなもののよ。皆さんは、まだ若いから、俺の域まで来
たら、もうほとんど金なんて関係ないやから。金は銀行がくれるもんやと思っとるから。銀行
は日銀からもらっとる金、あんなものただの紙。あんなもんね、新聞紙を集めてるおじさんお
るだろ？リヤカーで。あれと同じやから。金なんていうのは。全くね価値のないもの。ただの
印刷物や。よくたましいことを考えんでも、金が欲しかったら銀行から取ってくる。そのうち
に日銀から、トラックが来て、1,000兆ほど俺のところに持って来てくれればさ。それを最近、
お願いしとる。強盗するか日銀からトラックを回してもらうか、どっちがええやかなと。銀行
なんてね、チマチマ言うのとより、日銀が早いよやろ？すぐに印刷のおニューをガバっともらっ
たほうが早くない。

真田 孔明：

トレーのまま。

北野会長：

そうトレーのまま。

メンバー：

ホカホカ。

メンバー：

暖かいやつ。

真田 孔明：

45億でしたっけ？

メンバー：

何でお札って暖かいんですかね？暖かいよね。

メンバー：

そうなんですか？暖かいんですか？

真田 孔明：

さすがユニボさんだ。

メンバー：

すごいですね。

メンバー：

まだ、入れていないからなんて・・・

北野会長：

これをサラっと言わなきゃ駄目やる？もっといい言い訳の仕方を教えてやっから「お前ね、毎日、日本食や、俺かて、たまに洋食が食べたい。たまにイタ飯も食べたいやろ」と「お前、どうや？」こう言えばさ、嫁はんもやっぱりフランス料理も食べたい、そう思うやろ。それと単に同じだよ。愛はあやふやかかもしれんけど、俺の愛は全てはお前のやと。全てはお前なんやと。でも、俺かって、毎日、三度の飯に肉ばっかりや嫌やと。だから、たまにおかゆも食べたいなと。次の日は、パスタも食べたいなと思うじゃないのと、こういう説明も結構、遠回しやけど、嫁の首に縄をつけて・・・お前かって、お前、朝、起きて何しとる。朝からペンキを塗ってやな顔に・・・パタパタパタパタ。ここまで言うと、これ以上言われると嫌やろがよ。朝からガーガーガーとドライヤーをかけてやぞ。俺からしたら、もう迷惑極まりないのやと。俺がお前、裸になって寝とるぐらいで、そんなことを言われる筋はねえ、と開き直るね。

メンバー：

入れてないですからね。

北野会長：

入れてないんやから 笑

メンバー：

入れてないのなら、裸で寝ているだけですよ、隣で・・

北野会長：

ちょうどこれから始まるどころ 笑

真田 孔明：

そんな踏み込まれたことあるんですか 笑

メンバー：

すごいな。奥さん。

北野会長：

これぐらいは当たり前。うちに帰ったら、「君が全てよ」みたいな歌を一応、覚えて、君が好きやって、あれだけでええんや。俺なんか、いつも言うところ。お前、俺を責めるな。お前には、あの広い海の権利、空の権利、全部をお前にプレゼントしとる。俺はお前のために、海の権利も山も権利も、金の権利も全部、お前にやっとりんやから、ぼとつくな。ポトポトポトポト言うたら、お前、増えるのはシワだけや。俺は、お前のシワを増やさないがために、毎日、努力して金儲けしとるんやから、ここまで言うからね。やっぱりね、順列を余計に言うと、信用性があるわね、それだけ、本当はそれだけ。

メンバー：

すごいですね。海の権利も山の権利も、空の権利も全部、お前にあげるからって言っても、何一つ別に持っていないからって返されて。あ、そうだなと思って。

北野会長：

俺はだから、クラブの女に「おし、もうね、山の権利も海の権利も、空の権利もお前にやると。ただのプレゼントやから。全てはお前のものや」そしたら、女の子が今日、代行代1万円ちょうだいって言うから、それはキャッシュはないぞと 笑 すごい早いやろ？この逃げ方が。これはシャラっと言えないと、ここが俺の上手なところ。挿入したところたら、奥さんの顔を見たら絶対にね、挿入、なかなかしとられんから大丈夫やて。必ず言うやよ。寝床を襲われたら「まだ、する前でした」と。「このマンションをあんた借りて、こういうバカなことに使ってるの！」って言うたら「借りたところです」

メンバー：

まだまだ借りたばかりです。

北野会長：

今日、初めて実行しとるところにあんたが踏み込むから、こういうバカなことが起きると。

真田 孔明：

どうやって踏み込んだんですか？

メンバー：

すごいですね、奥さんの情報収集力。

北野会長：

違うんやて。彼女は、俺を管理するが金が儲かるんやから。わかる？彼女は、俺を管理すれば金が儲かる。だから常に俺のところに目を光らせとるわけよ。ギロギロ目やから、見とるわけよ。本当にヘビ年みたいなような感じだけど。本当はウシ年なんやけど、何でお前、そんなウシなのに金色の目をしているのみたいなことを言うたら、最近、嫌がる。「私、そんな目していないわよ」言うて。あんたなら、いつでも帰ってきて、わーって言うわけやろ。昨日も「何時ごろなの、帰ったのみたいなことを」いうから「孔明がさ・・・」

メンバー：

孔明さんで。

北野会長：

責任は、責任転換。責任は。

メンバー：

孔明がしつこく質問してくるからさ、帰ろうと思ったんだけど。

北野会長：

昨日、部屋まで来てた？

真田 孔明：

はい、行きました。会長の部屋まで。

北野会長：

本当？全然、覚えとらんが。特にね、最近ね、最後の飲んどったときの顔は今、思い出した。ところが最後に部屋へ誰が来たかって・・・。

真田 孔明：

この3人です。こことこことこだけ。

北野会長：

本当。

真田 孔明：

最後の最後は。

メンバー：

ほかは脱落したんですよね。途中で。

真田 孔明：

体調が悪くて。

北野会長：

ずっと飲みっぱなしやる？こうやって。虚弱体質やから、本当は来月からやけど、ちょうど誕生日を迎えるから、養命酒にしようかなと思って・・・虚弱体質に効くいうもんで。また、お酒と言われると、なぜか俺の手は上がるわね。これは本当に病気やから、アルツハイマー。

メンバー：

銀行がどうですかいったら・・・

北野会長：

俺の場合は、銀行がどうですかいうたら、全部、イッツオーケーやから。必ず、最後に帰るときに言うが。「支店長、悪いけど」は、支店長の後ろ姿を見たときに声をかける。「支店長、悪いけど」って言うが。支店長が振り向くやろ。そこで言うがやて。うちの嫁に「金利が決まったんやから、先払いで小切手持ってきてくれ」支店長、びっくりする。今、貸した話が成立したのに、社長は、60万の小切手を切っとる。そんなもん嫁と俺やから出来レースやわい。「あれ何か、いい支店長と巡り合ったから、うちのパパも喜んでいるんだよ」って、パッと俺に60万の小切手を出すと。出来レースを組む、チャンチャカチャン、チャンチャカチャン。それでそれを後は引き延ばすだけ。後は、銀行が返してくれ言うても、ああだらこうだら言うとなればええんやから。

メンバー：

元本はそのまま。

北野会長：

誰もね、日本刀を持って来るやつ、拳銃を持って来るやつ、イスラムじゃねえから銀行は。そういう人は絶対に来ないから大丈夫。1回延ばしたら永遠に。だから、俺のところはいつも言うとり、大原麗子が、細く長く。細く長く愛して。この言葉、好きなんやて。だから、元本を返すと、つき合いが薄くなっていく、わかった？この単語・・・つき合いが薄くなるやろ？だから、利息だけは払っておくと細く長くずっと、例え金利の変動があっても、僕は細く長く永遠につき合いたい。俺が死んでも新しい社長が来ても、当行とは永遠にこれを商工中金に言うたらね。商工中金は、国家半分やろ？あれ、東京の方に紹介してもらったんやけど、初めて紹介してもらって俺に言うがやから。紹介者から、社長のところは最低3億、それ以上は貸して

くださいって言われてきましたっていうから「紹介者はちゃんと言ったか？元本は返さんぞ、言った？」「そんなこと聞いておりません言うから、お前、それ言っちゃ、仕事にならんやろと。俺はだから、国と永遠につき合いたいから、商工中金から借りるんだよと。だから、利息は払うけど、元本だけは勘弁してくれと。たった3億、若いときは俺も精子が3億出た男やから、いつでも返せるんだよ」と。

メンバー：

毎日払うよと。

北野会長：

毎日。一時・・元気なときは7億ぐらいまでは7億ぐらいまでは払ったよと 笑 一応話やから。でかい風呂敷をかけとくとういうことが言えるわね。

メンバー：

それで、それだけで済んだんですか？

北野会長：

ずっと利息だけや。元本を返したら金が減るもん、わかる？あんたらち、わからんやろ？あんたらちはね、頭がセンチピーやからわからん。借りた金でも自分の金や。持っとるんやから。あれ返すとお金が減っていくわね。わかるやろ？

メンバー：

減っています。

北野会長：

そうやろ？減っていくがやて。だから、嫌なの。俺は金が減るのが嫌なの。だから趣味はお仕事、道楽は貯蓄いうて書いてあるんやから。お前、貯蓄が減ってみれ、お前、もう人生まっさかさまにやぞ、辛いやろ？

メンバー：

道楽が、どんどんどんどん減っているの。

北野会長：

そうやろ？俺は道楽するためにこの世に生まれてきたんやから。後は社会貢献、ボランティア。順番にそこら辺、まだ四つぐらいあるんやけど。でも、こういうことさえ、覚えとれば、簡単や。だから、金、返すだなんてバカげたことを考とるやつは、まだ、頭がおかしい。貸してもらった。だから、俺は清く、正しく、永遠につき合う。わかる？だから、絶対に楯突かん。「はい」と「です」以外の単語は使わないいうぐらい真面目なんやて。俺の欠点は今、今日思うと、真面目が欠点やね。これ以上の俺の欠点はない、とこの真面目・・

真田 孔明：

聞いていると脳がグルングルンに回転される 笑 右から左から、相手がどうでもいいかみたいになっちゃうみたいな、恐ろしい 笑

北野会長：

今度、書いておくから。ただ、欠点は一つ、書いておいてよ。今度。皆さんの文章に・・・俺の欠点は、たった一つしかないということをパッと字で表すと、はっきりする。今度、孔明さんがちゃんと書いてくれるから。皆さんも余り心配せんと、大船に乗ったつもりで、ここからは金持ちの会にせんといかんやろ。バンと弾けるような、俺の発想やから、何もそんなに心配せんでもいい。金は借りたら返さない。事業は補助金をもらってやる、簡単や。株は毎にち暇をみて居合やる。平城さんみたいに、40個以上切るのはすごい。お前ら、まだ40回切ったものおらんやろ？一晩中、40人の女とやると一緒やから。脳は、脳は、孔明さんでも、多いのは5、6回やる？

真田 孔明：

もうちょっとあります。

北野会長：

もうちょっとある。10回ぐらいある。

北野会長：

チャンスがあるときは。

北野会長：

すごい。あれはだから、これぐらい精力、10人の女とでもできるんやて。奥さんに見つかったらひどいよ。絶対に俺はしとらん言うて。しょうかなと思って、パンツを脱いだところ。何でも言い訳を考えれば、何ぼでもあるがやから。やった言うから、罪になるがよ。やらん罪はないよ。バックをひったくろうかなと思うとて、ひったくらなかったら罪にならんやろ？パンツも同じや。してないんやから罪にはならんやろ？

メンバー：

脱いだけやと。

北野会長：

脱いだけ。これから、もう中の精子を出そうかなと思うとったんやけど、君が止めたから、悪い女に引っかからんでよかったと。これぐらいサラッと流しておけば、罪にはならんやろ。

メンバー：

会長のコツ2つあるなと、お金と言いつ。

北野会長：

言い訳上手が話上手。言い訳が上手だよ。俺の場合は考えていない、土壇場になったら電波が入ってきて。

メンバー：

降りてくるわけですか。

真田 孔明：

ご先祖様が 笑

北野会長：

だから、ドアを開ける支店長に背中から向かっていくわな、簡単や、棒持って行って背中からガンやられたら勝つやろ？こういう感じさ。だから、支店長に必ず、ドアを相手が帰りますって帰るところのドアを開こう、この瞬間やな。この瞬間に声をかける。

メンバー：

会長にところに来る支店長はみんなそれで切られているから、後ずさりでもドアを開けるんじゃない？ 笑

北野会長：

そんなことないよ。後は新任の支店長が来たら、まず、いいところを見つける。いいところを見つける。ネクタイが素敵やとかさ、ダンヒルの背広を着とるんじゃないですかとかさ、革靴がいいとか、何でもいいんやて。そこら辺から初めて広げていけ。ピザの円を広げるみたいな。後は網を張って鳥を捕まえる。

メンバー：

鳥ですか？

北野会長：

支店長は、鳥。僕は網を張る。後は、ジェントルマンやから、パスタはいらない。俺が欲しいのは金やから、だから、支店長が何億融資してくれるみたいな、1億融資でもお前、使ったらひどいよ。1億、お前が酒を飲んでみよ、お前、ほとんど死ぬよ、そうやろ？だから、金の価値っていうのはあるわけさ。じゃ、お前、俺が1億出すから、1億、一人で肉を食ってみ。ほとんど、お前、100万ぐらいで死ぬよ、そうやろ？

メンバー：

お金を借りるときは、何の目的で1億かしてくださいって、何かあるんですかね？

北野会長：

うちぐらい借金が多くなると、銀行は絶対にね、何の目的なんて一言も聞かない。俺、銀行の担当者に「お前が言い訳を書けばええがやて、何で俺が考えるの？お前が融資したいから、お前の売上を上げる、何で俺が言い訳を考える、てめえで考えておけっちゃうの。決算書もあるんやから、お前が言い訳を考えれ。何で俺が言い訳を考えるの？俺は銭なんか、もう山ほど持つとるからいらんがやから。お前が借りてくれ、借りてくれ言うから、俺は義理でお前の顔を立てようとして借りる、言い訳はお前が考えといて」

真田 孔明：

低いレベルの言い訳は僕たちに聞いてくれれば、低いレベルの言い訳は 笑

北野会長：

俺なんて、いつもそうやって言うがやて「そんなね、俺、金なんか借りんでも、金、余っとるのは銭だけなんやから」って言うがやて。だから簡単やろ？相手が言い訳を、会社の言い訳を書いてくれるの。それで融資したいから。融資すれば売上やから、うちの会社は借入や。俺はピシッと利息は細く長い付き合いでさ、0.5やったら全部、オールオッケーみたいなことを言うがやて。イツマイオーケー、どんどん来られ、じゃんじゃん。どこの会社も全部、黒字なんやから。どの会社でも融資OKです・・そうやろ？1億ずつ引いたって、10社あれば10億引けるやろ？それを経済活動のために投信を買っとるんや。

メンバー：

お金を借りて下さいって、なったときに、なんの名前で借りているのですか。それとも10社・・

北野会長：

A社、B社、必ず銀行が言うの。俺に保証人になってくれ。社長を保証人、立ててくれって言うや。お前ね、人を見て融資はするもんやと。人を見て。済みません。ちょっと言い過ぎた 笑人を見て。銀行にそういう。人を見て、銀行は融資するが。それが世界の常識やて・・今じゃ。そんな保証人とかさ、そういうものを取って、担保とか取って、融資するなんていうのは、人間から見たら下の下や・・ってはっきりで言うわけよ。

真田 孔明：

いや、実際に保証人制度がなくなりましたからね・・本当はね。

メンバー：

保証人ってはいけない？

北野会長：

今日びはね、やくざ者でもえんこ指は取らんようなシステムになっとるんやから。銀行が担保を欲しいとか、保証人が欲しいなんていうのは、これほど間違っとる経済はないよと、こうい

うた。45年目に入っとるんやけど。言い訳は早いから。そのときの言い訳、なぜか。（何かを落とす大きな音が聞こえる）何か暴れとる。店終わってきたね。

真田 孔明：

じゃあ、お会計・・・

北野会長：

カードを持って行って。

真田 孔明：

お会計。

北野会長：

そういう具合にまずは弾集めして、農業のことについては、みんな県が違うんやから。一括で申し込むか。

真田 孔明：

通信障害みたいなので、ちょっと待ってくださいって。今、電話中ですから。（会計のシステム）

北野会長：

カードも楽天やからね。僕の場合。これまたね、ポイントが貯まるんやて。あれ投信を入れておくと、あれほ、利払いやるときに全部、金がポイントになって入るやろ？これポイントがいっぱい貯まる・・・本当。それで、買わなきゃいいのに、また、酒ばかり買って飲んでどる。頭がどんどんどんおかしくなってきた、最近は過去を全て忘れて、嫁にも言うた、昨日のことまでは覚えとらんがやから。これね、覚えとかれ。この覚えていないっていう言葉を一つ知るとれば、どんなところで回避できる、わかった？金を借りたときに、元本と利息や。次に会うたら、「あ、そんなことも支店長、言ったかね。全然、覚えとらん」とうとう、アルツハイマーかなと、サラっと。アルツハイマー。病気やから。そこへさっきの押しつけと一緒に。孔明が俺に酒を飲ませて、俺は嫌々飲んで、3時までつき合いしとったんやと。決して俺が飲みたかった酒ではないよと。これは全ては孔明が悪いと・・・簡単やろ？利払いやから一緒にやる？ノリ面の工事と一緒に。そんなもん簡単に。言い訳はだから人に押しつける、パッパとね。銀行も都合が悪くなったら、支店長、俺は全然言った覚えなし、とりあえず1カ月目の元本は返せないから、利息だけ先に払わせてくれよみたいなことを言えばさ、相手がもし、借りたあんたが潰れると思ったら、利息欲しいよ。利息が欲しい。銀行は何で食っとるか、お前、よう考えてみよ。銀行は利息で食っとるんやから。俺ぐらい霞を食って生きとるのは。霞って飲んどる。これが俺のガソリンやから。だから、いつも言っとる。愛はあやふやや。恋は恋しい。だから、新しい女が出て当たり前。女は金の、金に寄ってくるがて、別に俺に寄ってきているわけじゃねえ。俺はジェントルマンやから、寄ってきとるだけ。言い訳はだからいろいろな言い訳。これからは言い訳少年になってくれ。パッと毎日のどんな場面でも言い訳できるような能力を持

てばいい。それが一番大事。土壇場に強い。土壇場に強くなれば全て強い。だから、死ぬ必要はねえで。死ぬ必要は。命があったら死にはせんと、ここから出た。だから、1円上がって、売らんだいうて、バカにしとるやろ？1円、歩いてみれ。お前、1円玉は絶対に落ちとらんから。日本中、歩いて。滅多に会わない1円玉やから。「1円玉の～」という歌もあったんやから。旅ガラスやったかな？そうやろ？すごいやん。

メンバー：

父が歌っていました。

北野会長：

このチチか。俺のチチか。ビールがないから、お前、注げよ。お前、1円玉の話をして。

メンバー：

いうばかりなので。

北野会長：

ここら辺が一番大事なところ、経済やから、経済やから。だから、まずは動かない、働かないを基本にして、ゆっくり考えてさ、補助金で1億、2億もらっても誰も怒らないから。さっき孔明さんが言うたやろ？5万円ずつで貯蓄、25からしたら59歳になっちゃうんやから。わしらがもらっとる2億円ほどの金をもらうってすごいもんや。俺、毎月、毎年2,000万また、補助金を市からもらっとる。

真田 孔明：

毎月？

北野会長：

毎年。まだ15年しか老人ホームをやって経たないのに、じゃ、一体あれば誰が建てたんか？本当は国が建てたんや。全部、補助金でくれるがやから。これぐらいボランティア活動を僕はお国の代わりに老人ホームを作ったんや。お国の代わりにデイサービスをやる。こういうことなのさ。全てはお国のために。だから、我が命、特攻隊に行って死ぬも一つ、お国のために尽くすってこの日本の精神は・・・そういう気持ちは一緒ですよ。だから、俺を育ててくれ。俺を育てることが子どもを育てることと一緒に。融資もバンバンくださいと。ここまで言うと相手もだんだんだんだん、「え、野郎、お前、俺を利用して金、取りに来とるな？」すぐにバレるけども、一応、言わないよりも言うたほうがええんやて。無理、無駄、ムラは発生するよ。でもね、やっぱり頼んだことは相手も金の世界やから。相手も金の世界があるがから。相手も金の世界があるがやから。そこに付け込む。2億取ってくれたら、2,000万か200万か、さじ加減や。さじ加減はお前ができるんやから。言うたところは金は2億で2,000万。もらった金やから。でも、2億、あんたもう1本高いって3億で手を打ちましよう言うて。なら、3,000万払う、チップで払うから言うて、バットと言うがやて。そこに人が動くんや。この男は甘いなと。

3億やら3,000万、お前、ムチャムチャムチャ言うて、融資すれば言えええんやから。別にあんたが借りたわけでも、全然・・

真田 孔明：

ノーリスクですね。

北野会長：

ノーリスクよ。お前は領収書のいらん銭、ヴィトンのカバンも1個、プレゼントいうて、中に3,000万、入っと思ってみれ、お前、こうやって開けたときに、ああ、肩、軽くなってさ。嬉しいわけよ。

真田 孔明：

肩が回る。

北野会長：

そうやる？ああ、俺いいことしたなと思うわけよ。俺なんか昔、ヴィトンのカバンに1億、詰めてお礼参りに行ったことあるがやて。1億やぞ、お前。だからさ、ピヤッと開けるわけや。横におったこういう席で芸者がおるわけや。芸者にそのヴィトンのカバンから100万円を掴んで、クッと入れるわけ、乳のところへ。芸者は束を見せとっから動かんわけよ。

メンバー：

やめてって言えないですね。

北野会長：

やめてって言わない。やめて。もっと入れて。女ちゃ、すごいもんやなって。おっぱいだけで100万取るがやから。あの日の俺のおあいそを見たら安かったよ・・250万や。ハナノヤいうとこでやっと思ったんやけど。250万や。どっちが得したかや。俺が得したに決まっとる。でも、1億持っていったものも余りおらんがやて。1億のキャッシュを持ってね「今日、食事会、ヴィトンのバックに・・」って言うたら、「お、社長、ヴィトンのバック？」みたいなことを言うから、弾はそんなに入っていない。「僕の精子の3分の1ぐらいですけど」と言うたら、え、3分の1、1即やなところ思うやろがて。じゃ、後で秘書に・・予約入れときますって言うがやて。そこへヴィトンのバックをドンと置いて「いろいろ、ありがとうございました。これは名刺代わりに少し持って来ましたから。とりあえずカバンは返してもらわんでもいいから、ヴィトンのカバンも全部これは納めておいてください」みたいなことを言う。銭、入っとるのわかつつから、女将が挨拶に来るんがやて。それでパッと開けて、金だけ見せるがやて、その100万円と取って、姉ちゃんの1,000万円の中からやぞ。バンと開けて、100万円の帯を切るやる？姉ちゃんにパッとおっぱいに入れて。姉ちゃんも・・これがすごいところ。ラッスンゴレライ。銀座に行っても同じことをやるわけや。カバンを持ってさ。銀座いつものところに行きたいんだけどみたいなこと・・「じゃあ、カバンもありますから、カバンを持って行かれたらいかがですか？」と。カバンを持って行かれたらいかがですか言うて。カバンに1億、入っとるんや

から。カバンがはったりさ。そこで言うわけよ。周りのママと女の子に俺さ、少年にもらったんやから、少年。少年にもらった銭と言うやん。1回で俺の株がグッと上がるわけよ。少年が持って来た銭やから。もらった銭。ママから見たらそうやろ？結構バカなお客さんやから喜ばれるわけ。だから、バカな金を使うと、こうやってもてるわけ。もてるわけ。見つかってもだから、まだ、挿入はしていない。でも入金します。銀行に言うが、入金しますよ。挿入はしませんと。入金と挿入を反対に使い分けて。とっさに強いにならんとあかんよ。考えてね、動くやつってたかだしれとる。考えてから動くやつなんて、俺のインスピレーションだけで動く。どっちに逃げたらいいっていうのは、考えないんやから。体がパンいうてどっかに反応すると思っとる。だから、そういう細かいことは余り考えない。おい、カードうまくいったのかの。

真田 孔明：

まだ電話しています。

北野会長：

この間、何かうまくいったやろ。

真田 孔明：

はい。この間は。

北野会長：

また俺の口座パンクとるとか言わないか。

真田 孔明：

ここのシステムが問題みたいです。

北野会長：

本当。明日、銭、持って返しにきてもいいけども。俺の場合は貧乏やからさ。食事代は払うよ。俺はジェントルマンやから、サラっと。今、何時？ここ10時やら11時半で終わり。

真田 孔明：

10時過ぎです。

北野会長：

まだ大丈夫。いい。俺。タバコ吸う人いる。

メンバー：

はい。

北野会長：

二人だけか。お互いに1本ずつ吸おうよ。

真田 孔明：

済みません。タバコって。

北野会長：

この間もそこで吸ったな。

真田 孔明：

法律で決まっているそうです。マレーシアの。

メンバー：

マレーシアも厳しいんですか。

真田 孔明：

タバコは、外ですかね。

店員：

そこでいいですよ。

北野会長：

今、ここの社長を紹介すっから、紹介者。今、ここの社長を紹介すっから、皆さん。

社長：

今日は済みません。ありがとうございます。

北野会長：

ジョホールバルに来たら必ずこの店へ寄ること。

社長：

よろしくお願いします。

北野会長：

この社長のすごいところは、俺と初めて会った日、俺におごってくれた人なんやから。

社長：

金足らんかったけどね 笑 そして貸してって、借りたじゃないですか・・・俺。

北野会長：

言葉が素敵なやいかい。今日、初めて会ったから、俺が先輩のがやて。でも、彼は払ってくれる言うがやて。この人が銀行やったら良かったなと思っとるぐらい。

社長：

後から、金くれへんかって 笑 済みません。じゃ、いただきます。

真田 孔明：

うまかったです。本当に。

北野会長：

みんなわかった。ジョホールバルに来たら必ずこの店に来ると、これが掟やと。知り合いがいたら必ず紹介して。だから、明日、みんな自分の友だちを煙やから、彼は煙、狸やから。彼は狸やから、人をパッと煙に巻くのが上手。きっと狸やから煙にしたんでないかなと思ったり、思わんだりはいろいろ、いろんなことを思うけども。

社長：

すみません

メンバー：

日本ではどこに？

社長：

僕は北海道です。道東ですね。釧路と帯広を行ったり来たりですね。

真田 孔明：

沖縄にもやれているんですね。

社長：

沖縄が多いですね。済みません。いただきます。ごちそうさまでした。ありがとうございます。

北野会長：

これで帰るの？

社長：

ちょっと今、呼んでいるから。済みません。ありがとうございます。

北野会長：

みんな、来るようにね。みんな、とりあえず、ここは発展途上国やから、物件があれば買っておいたほうがいい。給料がまだ安いんや。いずれは子ども4人ぐらい産む国やから、子ども4人

やよ。認可保育やったら、ここのほうが絶対に儲かる。ちょっと言い過ぎました。ここがポイント。

メンバー：

ここは調べたんです、幼稚園。マレーの人じゃないとできない・・・外国人だめ。

北野会長：

マレー人とまた結婚すればええやん。

真田 孔明：

こっちで。イスラム。

メンバー：

誰か、立てたらしいんじゃない。

メンバー：

売りたいっていうところがあって、ちょっと交渉したことがあるんですけど、その人の名義のままやる。

北野会長：

考え方がもう悪人やろ。俺、だから1回もしゃべったことないのに、目を見たらさ、何か一人だけ悪人が目がギラギラしとる。何かあの電気と一緒にやて。光っとるから。あ、後ろ見て。あの電気、光っとるやろ？あれと一緒に目をしとるんやて。

真田 孔明：

わかりました。明日、持ってきます。わかりました。明日、僕が払っておきます。

北野会長：

お金？

真田 孔明：

はい。

北野会長：

お金は、嫁はんがいっぱい持っとっから。俺は金は行き行き絶対にしない。金、触るといやらしくなるから。お前ら、女の股に触ったらいやらしくなるやろ？あれと同じ。金は触ったらいやらしく、金っていうのはいやらしいものやから。なるべく触らないようにしとる。孔明、明日、HSBCか何かに、あんたが振り込んだ錢も入っとる。錢はそんなもんなの。錢は絶対に触らない。女にも触らない。僕の場合はだから、推定無罪やから推定無罪、触る前。

メンバー：

触る前。

北野会長：

うちの嫁にも、何でもお前、買うてやっから、とりあえずアフリカ大陸まで欲しいなんて言われると俺も困る。中国なら、全部、お前のものにしてやる。あれは共産圏やから、考え方を換えれば全てお前の物や。だから、言葉っていうのは本当に楽なもの。後は実行するかせんかは、ここがきも。シーザーが船を出してさ、アフリカを取りに行ったような気持ちからみたら、俺がやっとなるなんて本当に埃みたいな話さ。埃が舞っとる埃みたなことを考えとるんやから。難しいことを考えんと、サラっとこっちのまず、こっちの買収して金で取るやろ？そこから認可保育園やいうて、後は法案を作らなきゃさ、金は降りてこんがやから。ここを一番重視する。だから、そういうことを言わなきゃさ。どんな商売をやっても所轄は必ずおる。金融をやろうと、幼稚園をやろうと、老人をやろうと、全部、洋服屋をやろうと、所轄は決まってしまうとる。だから、そこをちょっとネジを回すね。これだけでええんや。働くなんていうのは、みんなに言うとかけど、自分が働いても1人工しかない。ユニボさんがどんだけね、うまいこと操縦するいうても、自分がユニボに乗っとったら1人工。100人使えばどのユニボでも動くが。秀吉が平垣を作るときに、秀吉が言ったんや。僕やったら3年かかるも3カ月もかからんとできる。はったり。職人をただ余計、集めただけのがやる。あれ？自分が働いたら1人工しかない。ところが人を働かせると、100人工にもなるわけよ。だから、従業員もたくさん雇うてピンハネしとったほうが日本ピンハネ興業やから。そこに焦点を・・後は、自分は何しとるか言うたら、白波を1円でも、1円でいいんや。そんなに欲たましい男じゃねえから。相手があるから仕方なく20円ももらう日もあると・・相手が悪い。俺は本当に株を買っても1円でええんや。そういうね、欲たましい心は全くないんやから。

真田 孔明：

たまに寄りつきからドンと上がったときにボンと抜けるんですよ。

北野会長：

あれは毎日やっとなら、抜けるがやて。別に俺が上げたもんじゃないから。俺じゃねえから。あれは相場が上げとる。だから、上げた下げた両極を建てて、SBI証券では売りをかけて、楽天では買いを掛けとる・・簡単。後ね、これを5対5でかけると、5対5でかけると、こっち5、こっち5、売り5、買い5やから、どっちでも抜ける・・毎日。わかるやろ？最後に年末に来て、凍ったら手仕舞いすればいい・・そうやろ？それがないわけよ、あんたは。だから、引っ張られると凍り付くがやて。何でお前、最近抜いていないって。200万も抜いた男ですら、金が凍ったら終わりやいうことや。だから、やっぱり一番いいのは資金があることが一番いい・・簡単や。だから、金を持っとったら投信で玉を建てる。その信用でチビチビとそれが10億になれば七千何百万ぐらいは、100億になったら7億は・・何を取ってもいいが。でも、絶対ね、いっぱいいっぱいでは使わない。銭に余裕を持って、孔明さん、いつも書いとる。余裕が全て。君も全て。余裕も全て。これぐらいに思っとくと肩が回りやすくなる。余裕が全てさ、余裕が全て。だから、余裕を持たせることが一番大事。あんたも、早く香港からバサッと切ってさ。金

なんて貯める必要はねえから、金は借りるの。返さないことが一番。俺なんか、本当にね、恥ずかしい話だけど、増える借金、減る信用やからね。ここ反比例しとるんやて。借金はドンと増えていくがやて。信用はドーっと下がとるわけや。だから、俺は信用が下がるほど金利も安くしてくれ。信用が下がとるんやから。高い金利だと払えないやろ？支店長ね、だから金利もどんどん安くしてってくれと。会長の目標はいくらぐらいなのって言うから、お前ら、タダで日銀からタダで取ってきとる。俺に0.1%ぐらいでもいいんじゃないの？俺はだから、0.1%だったら1,000兆でも借りるから・・・1,000兆円やよ。俺、2011年から孔明に言うとりんやけど、孔明、また信用せんやつやないかいよ。

メンバー：

0.1%だったら、1,000兆、借りても1億ですもんね。年間。

北野会長：

そうやる？

メンバー：

返せますよね。会長なら 笑

北野会長：

お前、精子が3億も出るがやぞ。元本から返しとったって、お前、返せるやろが・・・そう思わない。

真田 孔明：

1兆。

メンバー：

1兆だ。今、酔っていて頭が・・・

北野会長：

1兆でも、1,000兆、借りた中の1兆やから。1000分の1やない。

メンバー：

絶対に返せますよね。

北野会長：

そうやる？

真田 孔明：

しかも借りたやつから返している。いざとなったら。

サッチェル：

元本から払っちゃえばいい。

メンバー：

100兆ぐらい抜いて 笑

真田 孔明：

日銀みたいに。

北野会長：

日銀は、このシステムでやっとな、わかる？印刷物で株を買って儲かった、儲かった言うて、国民年金も一緒。あれはこの間、何十億か損したけど、あれもあこはを、買いはできるんやけど、売り建てはできなかった。それだけの問題で・・・それはね、規制したのが黒田さん。その発想をしたのはエール大学の浜田さん。

真田 孔明：

この方の音声を聞いていると、黒田さんの思考が読めるわけですね？だから、毎日、聞いているといいと。なるほど。

北野会長：

だから、寝る前に一応、何を考えとるのかないうて、ボタンを押しておく、そのうち眠たくなっというて・・・これぐらいでいいわけよ。毎日、プログラムを聞いとる。プログラムを聞けばいい。そんなね、働いたって1人工や。今日のテーマは、働いても1人工、これがテーマやから。

真田 孔明：

ちなみにこの方のどなたの対談がいいんですか？さっき・・・浜 矩子。

北野会長：

何大学やったっけ。

メンバー：

同志社。

北野会長：

同志社のハマユウコか？

メンバー：

矩子じゃなかったでしたっけ？

北野会長：

あ、矩子や。

メンバー：

妖怪みたいなおばさんですよ。

北野会長：

あれを通称、国会に行くと妖怪おばあちゃんって言われている。あの顔もまたね、またかわいらしい顔をしとるんやて。僕も彼女のファンなんだけど、彼女の反目を打つと、金が儲かるんやて。

サッチェル：

彼女の反目を打つ？

北野会長：

半目を打つだけで、金が儲かる。

サッチェル：

彼女は駄目だって言っていましたね。お金を刷るのは。

北野会長：

一番駄目というのが、浜 矩子やったっけ？言ったんやて。

サッチェル：

彼女の半目をやるとうまくいく 笑

真田 孔明：

出来レースかもしれない。そういう意見も持たせておかないと、国民がこっちを信じたいじゃないですか。こっちのダメの・・・プロレス

北野会長：

だから一緒やて。あんなものは出来レースや、バタンと倒れたりさ、キックしたり・・・全部。

真田 孔明：

最初から、決まっているんですね？

北野会長：

ここまで早いんやから。本当に治るときは。

真田 孔明：

何かあれだけの勢いで蹴ったら、本当だと血まみれになってなきゃいけないのに全然・・・あんな大男 笑

北野会長：

世の中ってというのは全部そんなもん。僕が組んだのも出来レース。そんなね、まともなレースは組まん。補助金が降りてきたら、農業もやってもいいなっていう話であって、農協に管理されるんやったらやめたやで。

真田 孔明：

ちなみに昨日、あそこの中で話していただいた、Tを8,000円のときに居合抜きをされていたのが、大震災が起きて150円まで落ちたんですよ。そのときの会長の勇者ぶりをちょっともう一度、お聞かせいただきたいのです。あれ、僕たちは聞いていたんですけど、これね、ちょっとうるさ過ぎて。周りが。

北野会長：

あれは簡単やで、8,000円で使ってドカンやるやろ？ドカンやる・・・ドカンやったやろ。あれ自分の持っとる玉が一番最初に売るのが。後は空売りをかけときゃ。

真田 孔明：

持っている株を・・・具体的に言うと、8,000円ぐらいのやつが寄り付きで7,000円ぐらいになるじゃないですか？それでも構わずそのときはもう全部、売りに出して、持っている投信とかそういうのも全部売却して、とりあえず、全部を現金化すると、それで、全部売り建て。

北野会長：

俺は昔からほ、ベアやからベア・・・ブルじゃねえ。ブルは牛や、うちの嫁はんはウシ年やもんであればブル。だから、あれはブルやね。俺はベアやからクジルだけ、爪を長くしてクジっていくがやて・・・簡単さ。だから、台風が一番銭、銭儲やてのはそこ。

真田 孔明：

ちなみに何日ぐらいであれは落ちたんですか。150円まで。1回800円で落ちて。

北野会長：

止まった。

真田 孔明：

止まって。

サッチェル：

そこまで売りを建てたんですか？ずっと。

北野会長：

当たり前さ。

サツチェル：

追っかけまくって。

北野会長：

俺の場合は、上から聞いているから全部売りばっかりおこす・・もう空売りの連続や。

サツチェル：

最初は損したけど、トータルでは大勝ちしたということですね？

北野会長：

そうやよ。この間の台風も一緒さ、あこで全部手仕舞いして。

真田 孔明：

マイナスでもどうでもいいから、とにかく全部を現金化。

北野会長：

全部、現金化して儲かった錢でまたACを買い戻すわけや。150円のTDの株主。そのうちにお前、名前が出てくるかもしれん俺の・・本当に。

真田 孔明：

でも、これのすごいのは800円まで落ちて、反発とかいろいろしているのにずっと手仕舞いしないで、150円を切るまで待っていた・・笑

北野会長：

違うやちゃ、これね・・違う。これよく考えて。150円で買ったものが、例えば今日800円だとするがね。ということは、資産価値があるわけやろ？そこがだから信用で新しい株を買ったほうが楽や。手仕舞いしたって何のメリットもないやから。取られるのは税金だけ。あれは今、売ると、20%の税金がかかるのさ。

真田 孔明：

チビチビチビチビやらないと。

北野会長：

趣味はお仕事やろ？道楽は貯蓄や。好きな言葉が？

(店員さんが来る)

北野会長：

綺麗ですね。

店員：

ありがとうございます。

北野会長：

高原のお嬢さんみたいに爽やかや・・今度、結婚を前提に・・

メンバー：

駄目ですよ。

北野会長：

すぐ、あこでチェックかける 笑

真田 孔明：

ちなみにさっきの8,000円のやつが7,000円で手仕舞いをかけて、売りをかけて、それが1回、700、800円まで落ちたじゃないですか？そこから、この150円まで持っていたときの心境をもう一度。

北野会長：

心境は簡単さ、俺の脳なんていうのは、頭センジンピーやから、絶対にわからん、経済はわからん。そう思えば情報が全てさ・・情報が全て。

真田 孔明：

8,000円が800円だけでもすごい・・10分の1です・・株。なのにそのさらに150円で。

サッチェル：

150円で、全部手仕舞いしたんですか？

真田 孔明：

していない、していない、持っている。手仕舞いして買い直したんですよ。

北野会長：

高で売るやろ？ずっと売りっぱなしにしておくの、それで150円になったら。

サッチェル：

利確するんですよ？

北野会長：

利確せんがやて。今度、逆に買い込みをするが。売り建ても建てとる。今でも一緒、800円になっても必ず売り建ても建てておくが。だから、うちの娘に言うたやろ？パパの知っとるのは、パパが知っとるのは、安いことを知っとるだけや。例えばユーロが150~60円しとった、高いとき。でも、ユーロもあっちゅう間に90円、100円割ったこといっぱいあるがや。

真田 孔明：

はい。

北野会長：

そうやろ？そのときにだから俺は娘に言った「お前、全財産ユーロに変えとけ」

サッチェル：

そうすると会長には、Tの売り建てと買い建ての両方をお持ちなんですか？

北野会長：

当たり前や。

真田 孔明：

売り建ては7,000円ぐらいの売り建てをまだ持っているっていうことですか？これはいつ手仕舞いしたんですか・・・買い戻しは。

北野会長：

違うんやて。階段は2階に足をかけたら駄目なの、階段を上るわね。売りも階段、買いも階段や。あんたが言っとるやろ。SHでも下がるまでどんどん買い増ししていっとるのと同じや。これは下り坂やから買い増し、上り坂も一緒やて。だから、両建てっていう具合。

メンバー：

8,000円から降りてきて150円までで売り建てでどんどんどんどん買っていくときに、例えば会長の場合、500円でも売り建てで買っている、それは買っていないですか。

北野会長：

6,000円になったら6,000円でまた売り建てをかける。

真田 孔明：

一回全部手仕舞いして。

北野会長：

全部、手仕舞いするが。だから階段は全部、俺の利益さ。

サッチェル：

どこまで売り建てを追っかけるんですか？

北野会長：

それはだから電話によってさ。

サッチェル：

まだ下がりますかと。

北野会長：

Tは潰れませんかみたいなことを、大丈夫だと言って言うた瞬間に今度、買い建てに変えるが、150円やからいうて、バット。

メンバー：

150円まで階段で追いかけたんですか？

北野会長：

当たり前よ。

サッチェル：

売り建てでですか。

真田 孔明：

すげえ。

メンバー：

そういうことですか。

サッチェル：

すごいな。

北野会長：

それで一財産。

北野会長：

だから、年末になったら手仕舞いして・・・

サッチェル：

だから、あれですね。ヴィトンにいっぱい入るわけですね。

北野会長：

今年はよかったから、皆さんにヴィトンのバックを持ってくるよ。お、そうか。彼はみんなに1億ずつくれるのかと思ったら。

真田 孔明：

みんなに。

北野会長：

そうやる。お前、俺の場合は。

真田 孔明：

これは何人ぐらい？

北野会長：

いっぱいおるが、いっぱいおる、そういうのはいっぱいおる。

真田 孔明：

ちゃんと平等に。

北野会長：

そう平等に。

真田 孔明：

1人だけにやると何かあったときに 笑

真田 孔明：

確かに、自分の采配次第で誰にいくら渡るのが決まっちゃうとなったらあれですよね・・・顔が。

北野会長：

だからさっき言う、資本主義社会っていうのはそういうもの、これが資本主義社会。お金は印刷物やから、みんな覚えといて。お金は印刷物のがで、金でも銅でも何でも買うのはやっぱり消毒薬の銀。これが一番・・・本当に。

メンバー：

銀は現物で？

北野会長：

あんなもん楽天にいっぱい出る。

真田 孔明：

ETFみたいなものあるじゃないですか。ファンドみたいな。

サッチェル：

会長はTはあそこまで下がると読んで空売り。

北野会長：

読んで？いやいや。全然読んでいない、電話・・・電話だけ。

サッチェル：

電話の後は150円まで行く。

北野会長：

150円まで下がったけど、まだ下がるの？みたいな。T潰れるの言うて。T潰れないいうから、俺、じゃ、儲かったいうて全部入れた・・・Tを。だから、娘にもうちの親族全部とりあえず10万株ずつチョロチョロと取っていけと。

真田 孔明：

僕たちも聞いたとき300円だった。

サッチェル：

それで教えていただけたのに誰も実行しなかった。

真田 孔明：

300円だった。

メンバー：

そうなんですか？

北野会長：

このメンバーは、俺が一生懸命に言うても絶対に実行せんが。

真田 孔明：

ここ、ここ、ここ。

メンバー：

そうなんですか。

北野会長：

このね、すごいこの知恵。すごいよ。

真田 孔明：

僕たちは株っていうのを、まだやってなくてね。

メンバー：

その電話では、具体的に一番・・底値が150円っていう具体的な数字は出ていないんですよね？
後はもう潰れないというのを会長が聞いて、どこら辺が底値だろうっていうのを会長が自分で
今までの時流から読んで、ここだって買ったってということですか？

北野会長：

ここだって・・。潰れないって言うたから、だから、とりあえず150円、タダみたいなもんや
よ。

真田 孔明：

8,000円ですからね。もとか。

北野会長：

8,000円の株がお前、150円なんて、買わんほうがおかしいやろ？

サッチェル：

そうですね。

北野会長：

AC・・例えば、あのとき、津波が起きたときに、もう6,000円ぐらいになっとる。バンと手仕
舞いして、4,000円で買い戻しをすればさ、差額が全部、俺のものやろ？この間、5時間もか
けてやよ。5時間もかけて一生懸命、みんなに説明したの、恐らく誰も買っとらん。俺は本当
に人間的に人格がないっていうのは、ずっとそう思う。

北野会長：

彼みたいに、パッと買っていれば簡単に儲かる。

北野会長：

いつも本当は一生懸命言っとるんやけど。あなたには聞こえない。セミの声みたいなもんでさ、
なかなか巖も通すことはできない。みんな、人の心やから。俺は強制せんし、皆さんの金も集
めることはせんから、自己責任でやってくださいよいつも孔明さんがいつもそうやって言う
がや。実行して初めて実行犯やから。サイトにも書いてあるやろ？俺は実行犯やから、実行し
なければ何もならん。後は何もない。実行して初めて結果が生まれる。何もしないやつは何も
生まれんがやから。セックスしないと子どもは生まれぬ。もう世の昔からそうやって書いて
あるんやから。女は金を男を騙しながら生きとる、当たり前や。夫いう字は反対に見るとあれ
は金やいう書いてあるがやから。こんなことも知らんとして経済を生きとったって、お前、何
もならんやろうよ。女から見たら夫は、金やから・・簡単やろ？これだけ知っとれば嫁はんに

見つかったも、挿入はしていません、この一言。あこで離婚してみれ、お前。奈落の底やよ、嫁が。そうやろ？金儲けっていうのは俺に決まっとるんやから。嫁は奈落の底へドボンや。ちゅうことを覚えておいてください。誰も、何時までだい。

メンバー：

終わりは何時でしたっけ。

店員：

まだまだ大丈夫ですよ。

真田 孔明：

いや～東電8,000円ね。

サッチェル：

ドボンしたとこで・・

真田 孔明：

全部、売却、もう。あれ確かにそうだよ、でもね。

サッチェル：

あれはすごい。

真田 孔明：

8月24日もね、あれマイナスだろうがなんだろうが、全部手仕舞いしてね。あのとき、初めての大暴落だったからな。握っちゃっていたよ・・上で。

サッチェル：

手仕舞いして買い直せばよかった。

真田 孔明：

売りなんて怖くてできなかった。

サッチェル：

さらに売りをかけてた、すごいよね。

真田 孔明：

手仕舞いして。

サッチェル：

売りで利益。

メンバー：

どんどん追っかけて。

真田 孔明：

そこでTを追いかけてるのが凄い・・Tに絞って。

サッチェル：

怖いよ・・9,000円から追っかけて・・

真田 孔明：

歴史的な大暴落・・8,000円が・・そこでTに絞れます。

メンバー：

まず売れないし、それを売ったうえに絶対にTを嫌になると、付き合おうと思わないです。

メンバー：

今年の1月に300円。

真田 孔明：

そう、最初から入っていれば。

メンバー：

そうなんですか。そんなに安かったんですか。

真田 孔明：

見てください株価。そのときにT、Tって何回も言ってた・・言っていましたよね？金はあったのに、ある程度。

メンバー：

1月。

真田 孔明：

1月。ハワイで。T、T、300円で、300円でも何か高いんじゃないかなと思っていたので。

サッチェル：

居合抜きで1月教えてたよね？

北野会長：

1月から言い出した。居合抜きの具体的な方法。

真田 孔明：

そこから一気に上がっていったんですよ。ブワって。

真田 孔明：

300円ぐらいでしたね。

メンバー：

2014年の10月ぐらいが300円。

真田 孔明：

あ、じゃあ400円ぐらいだったんですかね。どっちみち、これですもんね、これ。

メンバー：

7月のここがすごかったですね。

真田 孔明：

すごい。そこで930円を買っちゃった僕、一番高いところで。

サッチェル：

930円ぐらいでもっててもドンと手仕舞いしないと。やれるもんだったらさらに売り建てをかけるんだよ。

真田 孔明：

ずっと。昨日もおっしゃっていたんですけど、売るじゃないですか？売ったらここでさらに売りかけるみたいな・・・次の。

メンバー：

言っていましたね。

真田 孔明：

上がったちゃってもそれは手仕舞い。

メンバー：

損切りですよ。

真田 孔明：

損切り、何回も売りから入って成功した・・・

店長：

皆さんで飲んでください。

真田 孔明：

本当ですか？ 済みません、ありがとうございます。

店長：

後は洗い物だけ片付けさせてください。

北野会長：

全部、引いて。

店長：

ゆっくり飲んでください。済みません。

メンバー：

ごめんなさい。もう1回説明してもらっていいですか。

真田 孔明：

下がるときって、結構下がるじゃないですか。一回下がったらそこで手仕舞いしちゃえばいい、バンと。また売りをかけるみたいなんですよ。1回・・・数量を考えて、下がったら手仕舞い。これを繰り返す。階段をずっと繰り返す。

サッチェル：

一番最後は、上がったちゃったら損切りする。そこまで利確しているかっていう。

真田 孔明：

どっちみち。バサッとそれは。

北野会長：

どこにも書いていない。僕が四十四、五年かかってバカなことを考えついたわけよ。俺は、だから俺が考えついたんじゃないくて、俺の先祖が恐竜と戦ったときからの殺し方を習っとるみたいなもんです。

真田 孔明：

相手が弱いときはもっと追っかけろとかね。その先に、逃げた先にはまだいるぞ。でも相手が襲ってきたら逃げろとか 笑

サッチェル：

すぐに逃げろと 笑

真田 孔明：

すぐ逃げると 笑

北野会長：

聞いた？命あってのものやろ。お前、恐竜に踏み殺されたら俺が生まれていないんやから、そう思えば先祖の力は大きいよ。

真田 孔明：

多分そのときも現地人のこうやって集まって、どうやったら生きられるのかみたいな 笑 僕、片腕失っちゃったんですけど、みたいな。

メンバー：

恐竜が追いかけてくるんですよ。

北野会長：

俺、毎日、うちで片づけをやっているから、何ぼでも片づけは・・・本当です。

真田 孔明：

焼酎、いただきました。

北野会長：

昔から、ウソと女が一番、嫌いなんやから・・・わかった？聞いた？

メンバー：

ウソと女ですよ。

北野会長：

ウソと女は嫌いなんやから。ウソもつかない女は抱かないと。

メンバー：

女は抱かないで。

北野会長：

抱かない。ウソと女が一番、嫌いなんやから・・・わかった？嫌いなものは二つしかない。

真田 孔明：

って念じながらいつもしゃべっている。家の中で。

メンバー：

清く、正しく、美しく。

北野会長：

後は世のため、人のため。一番6個目が大事・・・自分のために働く。ここが抜けたら終わり。ユニボも、そんなね、福島でユニボを動かさんと、ここのユニボのほうが人件費は安いんや。どこも行ってわかると思うけど、トイレの水が不足しとるんや、ここは。

真田 孔明：

すぐに断水しちゃうんですね。

北野会長：

あんなもん少し頭を使えば、あんなもんは簡単にできるやろ？そうやろ？断水せん方法や。自分が水道局を作るみたいなもんや。そういう具合に物を考えると、金儲けというのは発想で人が弱っているところへ手を差し伸べると人は喜ぶがによ。老人が増えたら、老人の産業をする。

真田 孔明：

海外で、すごい香港でもここでもどこでも不足しているのがシステムバス。どこでも作れないんです、バスが。日本のお風呂は、いつも溜まっている状態で、いつでも入れるじゃないですか？日本のお風呂。

メンバー：

お風呂のバスですね。

真田 孔明：

あれあったらいいなと思いますよね。金があったら出したいですね。そこね。

メンバー：

24時間風呂ってということ？

真田 孔明：

日本の家だと、どこの家でも、小さいマンションだって全部システムバスが入っているじゃないですか？お風呂・・・普通のお風呂。別にサイズは小さいじゃないですか？何でできないかわからないんですけど、誰もやっていないんです。あれがあるコンドミニアムを見たことない、僕。香港、シンガポール・・・あれ、見たことない。

メンバー：

そうなんですか。

真田 孔明：

香港、シンガポール、中国、マレーシア。1件もない1件も。

メンバー：

システムバス。

真田 孔明：

日本だと、だってボロいアパートでもついているじゃないですか。

メンバー：

木造の小さなアパートでも普通についています・・普通です。

真田 孔明：

普通ですよ。不動産をやっている人はわかると思うんですけど。あれは何で海外にはないんですかね。

メンバー：

真面目な話で言えば。

真田 孔明：

日本人がいるじゃないですか・・オーナーが。あれだったら数百万入れてもほしいですよ。あの自分の家だったら・・海外で。

北野会長：

あれね。

真田 孔明：

何なんですか？

北野会長：

社会のいろいろっていうのはここにあるがやて。今までハワイにウォシュレットがついというマンションがなかったの・・一つも。ところが、最近ね、うちの前のアラモワナセンターに建った、あそこにはちゃんと全部ウォシュレット内蔵やて。

メンバー：

ついたんですね。

北野会長：

ついたの。俺は最初から、おばはんらちに言うてる。おばはんらちに、紙でケツを拭いとるような人種はあかんよ。言ったやん。やっと最近ね、電波がつながって、あれ安いやん。20億1戸。1戸。アラモワナセンターに今、この間、建築しとったね。あれ、1戸20億するの。たった20億やよ。俺の精子でも10回ぐらいの分はある。だから、上がるものを買っておけば、まず間違いないということ。資産価値がある。後は、儲かった金は発展途上国で買い増ししていけ

ば・・孔明さんが今、うまいこと言うた。バスがないから、今、すぐに帰って、風呂を今、作って会社を買収してやな。それを出荷すればもう簡単に商売。

真田 孔明：

これね、お金を出しても欲しい人いっぱいいると思うんですよ。シンガにないですね、1件もね、システムバス。ポチで沸いて溜まっていて、一件もない、日本だと、どんなボロいアパートでもあるじゃない？

メンバー：

あります。あります。

真田 孔明：

何でだろうね。だって、これだけ日本人が住んでいるのにね。

サッチェル：

お風呂に日本人用・・

真田 孔明：

日本人用コンドミニアムです。

北野会長：

ところが日本人っていうのは世界から見たら、一番進化しとる生物やろ？だから、日本の物っていうのは売れるっていうのはそこやて。絶対に間違いない。鉄板焼きやから。孔明さんの好きな鉄板焼きやから。これが大事なわけよ。だから、人間が進化していくわけやから、そのうち、だからアメリカ人もとうとうウォシュレットは、ウォシュレットはね、あこはできないんや。まず、どういうの。水道の配管がまず電気をトイレに置いていないやろ？そうやろ？だからウォシュレットをつけたくてもできん。まず電気の配管から電線からおろさんとできない。それをもう少し進化すると、高から霧が降ってくる。下からは風呂に入っても、ピンク、赤、青、紫と変わるボタンを押して、1個押せば、何か紫の水が流れてきたり、グリーンの水が流れて・・いっぱいあるがやて。うちの場合は、全部そういうのを入っているから。そこら辺はものすごく研究しとる。後は、スイッチ一つでお湯が満タンになって、ボタンを押せば何でも色が変わって、排水もポチンとやれば全部排水して、掃除もできるシステムを作った。

真田 孔明：

日本だと結構、もう当たり前ですもね。

北野会長：

当たり前よ。

真田 孔明：

あれをつけてくれるんだったら300万とか普通に出来ますよね。300万なら。だって家族で住んでいるから、僕は別にいらなくても家族は欲しいですよね？

北野会長：

だからそういうものを作れば絶対にウケるよっていうのは、文化なんや。ここら辺では、やっぱりアパート経営はバングラデシュやな。

真田 孔明：

バングラデシュですか。

北野会長：

当たり前やろ。誰が考えた・・・

メンバー：

世界最貧国だけど、2億3,000万人ぐらい住んでて。今、最大の人数のところが25歳。

真田 孔明：

攻めているんですか。バングラデシュは。

メンバー：

バングラデシュは1回行きました。

北野会長：

ついこの間までミャンマーのお姉ちゃんらちがここに何か白いね。塗ってさ。日焼け止めをやったやろ？民主化されたらどうや？みんなお前、ケバイぞ。姉ちゃんらちも。

真田 孔明：

香港も僕が行った2003年は誰も化粧をしていなかったんですよ、誰も。

メンバー：

香港で？

真田 孔明：

今、みんな日本の化粧です。うまいんですよ、みんなテクが、何か美人が増えたなと思ったら。

メンバー：

顔のスキルが上がっている。

北野会長：

あれは化け物やて。ここが大事さ。

真田 孔明：

今の中国すごいですよ。化粧は・・金を使いますよ、バンバン。

北野会長：

今は塗ったくりや。あれ、みんな韓国に行って、整形してさ。韓国人を見ると、みんな、女は、綺麗な女は全部一定の顔をしとる。あれ全部、整形やから。もう韓国に行ったら骨を削ってさ、細い顔でも何でもできるんやから。肉まで外してきてさ。それをさっき食べたの韓国の肉かもしれんよ。韓国の女の肉を食っとるかもしれんぐらい、韓国に行ったらこれが当たり前やから。世界の常識みたいなもんやから。一番ね、売春をやっとるのも、世界で一番多いのは韓国。

メンバー：

そうなんですか。

北野会長：

売春国みたいなもんやて。外貨獲得が一番あれでやっとる。日本にいちゃもんをつけて、おばはんが・・あんた、うちの女たちをこうしたのあんた、あんたの国やみたいなことを言うて、あれ安倍さんが3億ぐらいの補助金で出すから手仕舞いしましょうみたいなことを言うるとんや、韓国経済は弱いから。

真田 孔明：

たった3億で改善。

メンバー：

3億でいいんですか？

北野会長：

安倍さんはその反目をうって、また言っとるんやて。ニューヨークから、カナダぐらいまで売春像を建てたんやろ？

メンバー：

やっていましたね。

北野会長：

それを全部、撤去してくれと。我が国に作っおくからみたいなことを言うるとるわけ。ここら辺がもうサラッと逃げ手が上手や。はしかいんやて。

真田 孔明：

自国に作るってこと。

北野会長：

全部、回収したのは自国でこういう戒めとして置いておきますよみたいなことを言うとするんやて。あんなもの、日本に持って来たら全部スクラップ屋に行って廃棄やちゃ。

真田 孔明：

オークションで売れたりして 笑

メンバー：

売れそうですね。

真田 孔明：

オークションで・・・マニアが。

メンバー：

誰も見ないような美術館を作っておいて、そこに。

北野会長：

でもね、皆さん、知らんけども、日本の一番のいい文化はどこにあっかいうたら、ニューヨークにある。美術館に行くと。戦争に負けたときにおいしいものは全部、アメリカが持っていったわけや。だから、台湾の故宮美術館と同じ。ニューヨークの何ていう美術館やったかな。あそこにいっぱいあるんやて。一番いい、ほとんど日本の最高なものは全部。アメリカっていうのは、嫌な話やけど、ピラミッドもある。それはルーブル美術館にもあるよ。でも、アメリカに行ったらもっとたくさんあるが。あれは侵略しとる国やから、あれはだから何でも取って行くわけ。アメリカ人ちゃ。だから、日本のお金も恐らくね、800兆ぐらいもう借りとる、アメリカが。だから、私が言うよりも、エール大学の教授がそう言うてる。日本は世界で債務も一番トップの債権国や。アメリカは借金だらけのダラダラの債務国。ちゃんと言っとるんやから。俺が言うんじゃない。教授がそう言う。データベースで決まっとる。昔、橋本政権のときに持っとる国債を全部売るよってアメリカ国債を売るよ。あれでやっぱりブレーキを締めとるわけ。だから、日本の車を壊して、みんな、火をつけてさ。あのときそういうのをやめないと、そういうことをするんなら、するんなら、うちはアメリカの国の債権を全部売るよって脅しをかけたの。そのことで恐らくどこかで殺される。だから、やっぱり敵はなるべく少なく、味方はなるべく多めにしておいたほうが得や言うのはそう言うこと。たった経済はそれだけ。だから、敵を作るよりも味方を作ったほうがいい。後は、ないものを供給したほうが絶対にいい。東京都が言っとるんやから。昨日か一昨日の新聞に出とったやろ？日経に。保育園と老人病院はたくさん作ると。国家予算や。そうすると1億人が全て働けるような社会が来るよと。でも、安倍さんのすごいところは、あれ安倍さんが言ったやねえ。あの600兆円は、エール大学の浜田さんが言うた安倍さんに、とりあえず、数値目標を立てると。安倍さんが各企業に一部上場

の企業に全部、通達を出したんやから、給料を上げ。やくざ者のシステムやる？会社っていうのは、個々の経営者がいるのに、にもかかわらず給料を上げてくださって号令をかけとるんや。給料を上げないと消費は高まらんから、一応、GDP2%を目指しとる。でも、まだ1回もホラは吹いとるけど、ただの1回もなったことないのはGDP2%。今度、安倍さんの打ち出しとるのは、皆さんの生産を今、490兆ほど生産しとる。それを600兆、2割増しやる？だから、俺が思っているのは、最低200兆ぐらい印刷せんとうまくいかんでないかな。その少しだけうちへまた頂戴みたいなことを。

メンバー：

1%でもあれば。

北野会長：

とりあえず、今、今日、俺が言うとしたことをユーチューブで全部、載っているから。聞きながら寝ると。明日、起きたら全然、俺みたいに覚えとらんいうたら駄目やけど。ここはやはり頭に置いておいたほうがいい。

真田 孔明：

全部、暗記しそうじゃないですか。

メンバー：

もう1回、今日の音声は10回聞きます

北野会長：

これが現実や。経済の現実は本当にそういうところにある。一番ね、貸しがうまいものはあの黒田さん。黒田さんが東南アジアの局長になったんやて・・・彼が。あのときに何とタイを作ったわけや。タイ。タイランドを作ったわけや。

メンバー：

国のタイ。

北野会長：

だから、国のタイに金ちゃ、ジャブジャブ貸してあげるよと。その代わり、代わりがあるがやね。代わり、工業地帯は金は貸してあげるけど、野っ原やから日本の国に寄越しなさいと。

真田 孔明：

だからメーカーの工場がいっぱいあって、うちの会社もタイに何かね、工場があって何のためにコスト高のところにあるんだらうって疑問に思っていたんですよ、ずっと。

北野会長：

それを政府が国に補助金を出すやろ？あれで取った時分があれさ。国は何しとる？企業にはあれは分割で売っているんやから、詐欺行為と一緒にや。

メンバー：

言って、土地をほぼタダ同然でもらって、その土地を企業に。

北野会長：

企業に売っとるんや。

メンバー：

売って。

真田 孔明：

高値で。

北野会長：

後は簡単さ、皆さん「いらっしゃい、いらっしゃい」と・・・簡単なシステム。

真田 孔明：

一部上場企業がみんな出ているのはそういうあれなんですね。メーカーが・・・謎なんです。

北野会長：

どうしようもない。

メンバー：

国が言ったから買わざるを得ないし。

北野会長：

僕の言うことを聞かなかつたら、えんこを詰めますよみたいなことを言うがやて、国が言うからみんな企業は、みんな揃って・・・ところが最初はね、メーカーが出るが。今度、下請けにメーカーがちゃんと指導しとるわけ、下請けもどんどん行きなさいよと。ぼったくりなわけよ。全部、だから計算に・・・

真田 孔明：

上から下に、マフィアの世界。

北野会長：

あれは全部そんなんやよ。あんたらち全然知らんやろ？マレーシアもあんたらち知らんやろ？マレーシアも同じことをやっとるの。今、ジョホールバルの右側、東側あれは全部、今から日

本の国がどんどん出てくるわけよ。マレーシアが一番住みたい国やろ？マレーシアやろ？これさ・・・三味線。

真田 孔明：

だからあちこちに広告が入っていたんですね。あれ・・・飛行場とか。

メンバー：

タクシーに乗ったらマレーシアのあれがついてますよね。

北野会長：

そうやろ。

メンバー：

へ～。

北野会長：

出来レースなの。出来レースを知らんと、何か経済を追いかけるやろ？だから、はっきり見えん。俺は先に聞いているから、ま、当たり前やなと、と思っとるだけなの。この落差はでかい。

真田 孔明：

だから、会長も法人を作って。

北野会長：

そこまでネタばらしされると。立場はないよの。

真田 孔明：

後はユニットバスを入れる、嫌でもそこいく。

メンバー：

Airbnbで貸して。ユニットバス有りって書いて。

北野会長：

後は、Ariを使って貸し出すと。

真田 孔明：

ユニットバスね、多分ね、みんな外国人は入らないって言っているんだけど、温泉は結構、好きなんですよ・・・外国人。多分、外国で、香港とかシンガポールとかマレーシアとか行くとわかるんですけど、お湯がね、溜まらないんですよ。全然。チビチビ。香港の冬なんてね、お湯をいくら入れてもね、何回もお湯を沸かしに行かないとダメなんですよ。結局、寒い中でガーっ

てやっていたら終わっちゃうんですよ、それ。だから、お風呂が嫌いなの当たり前なんです。あんな辛い思いをして、ここも全部。

北野会長：

同じなんやて。ところがモレックパインに来ると、水がジャージャーと出るがやて。

真田 孔明：

出ますね。

北野会長：

あんなもん簡単やて。井戸を1本掘ればさ。カンボジアに行ってみれ。みんな、日本人に頼みたいことはお水が欲しいの。カンボジアに行くとトイレがねえから。トイレは一応、工程では200メートル圏内がトイレ・・・全部。家あるやろ？200メートル圏内は全部トイレ、国が規制しとる。

メンバー：

200メートル先には出ないでください。

北野会長：

出ないでください。自分の敷地内で200メートルが全部これトイレです。トイレがないわけよ。だから、経済が高床式であれば、下に置くとヘビとかいっぱい来るんやて。だから、一段高くて、ヘビは階段を登らんとしとるけど、ヘビも腹が減るから、やっぱりどんどん上がってくるわけよ。ウンコをこいても、下に魚囲うとるような国やから。これは当たり前さ。本当、ベトナムあこら辺も全部同じ、そんなことは。ハワイに行っても何と、タンクに魚を囲うやろ？その水、魚がフンをこくやろ。そのフンをまわして、葉っぱを作とる・・・サラダとかさ。それでテントを張ってさ、水耕栽培やとる。俺、この間、現地まで見に行ってきた。うちの孫がお前、これ何かえらい泥臭くないか言うたら、今日は魚を捕まえて・・・水槽の魚は大きくなるやろ？また、あれを学校が生徒にタダで掴ませてやぞ、それを売っているの。誰に売るか知とる？チャイナ。チャイナは川魚をバンバン食べるわけや。日本人は余り食べんやろ？そういうところにちゃんと産業っていうのは息使いとる。俺、ハワイの話を聞いてから、やっぱりこれは魚から囲ったほうが一番、利がいいんでないかなと思う。でも、魚はエサをやらんといけない。フンこくやろ？どっちがいいもんかなと。昔の人糞に代えてさ、水道局の横あたりに処理場があるやろ？どこかあこら辺にパイプを引いてさ。そこから循環システムのほうがいいんじゃないか。人糞が一番栄養あるがやから。

真田 孔明：

昔は普通に農家にね、肥溜めが普通にありましたよね？

メンバー：

何かリンが含まれて、リンが栄養になるって。

北野会長：

リンともう一つ、最近、発見されたのが、人間の体から糞の中に金が混じっとるんやと。どこかの大学がそれを見つけて、最近、何かゴミいう尿の集めるやろ？そこで何かその研究した先生がおってさ。だから、人間が金を作っとるんや。本当、本当。

真田 孔明：

錬金術がまさか。人間の体の中に。

メンバー：

ゴールドの金ですか？

北野会長：

そうそう、ゴールドの金を。

真田 孔明：

食べちゃってとかじゃなくて？

北野会長：

作っとるんやと。それは微量やけど、携帯電話の金と同じさ。たくさん集めて取れば取れるっていう話。どこかの教授があれを発見してさ。

真田 孔明：

何だろう。魂が生成しているのかな。

北野会長：

iPS細胞と同じやて・・・原理は。そうやろ？金もそのうち、iPS細胞で金ができる時代が俺は来るんでないかなと。それが貨幣価値になって・・・同じやんそんなもん。昔は物々交換しとったんやろ。女はそのときに、既に男と女が初めて会った。知ってる？いつ会ったか？こんな簡単なこと知らないの。男と女が初めて会ったが、地球上で。女は思った。この大きな人が獲物を持っとると。どうしてこの獲物を取ろうかって考えたわけよ、女は。そしたら、男は前出ているし、私は引っ込んだと。ここでやったわけさ、これが商売の始まり。

メンバー：

商売。

北野会長：

商売。女はだから商売をしとるわけよ・・・そうやろ。あんたが何を言ったって、子どもを産めないでしょ？私は生産者なの。これが女の強みさ。お前どんだけ頑張っても子どもを産めんやろがよ・・・たくさん作れよ。

メンバー：

はい。

北野会長：

産めよ、増やせよ。

メンバー：

それも孔明さんにアドバスいただいたので頑張ります。

北野会長：

だから、女はこれぐらい賢いの。だから、妻やろ？夫は俺から見たら妻や。夫は夫をひっくり返すとドルやから。ワイって書いてある・・・わかった。これだけわかると、人間は大分、成果があった。この二つを知らんと女に貢いどっても、全然、無意味。女は・・・わかった？みんな持っとるんやから。そこに溺れたら愛に溺れるわけや。あのね、あやふやなものに溺れたら大体、株でもさ、あやふやなものに溺れたら駄目。あやふやなものでも抜けるところはどんどん抜いていく。こういうシステムさ。商売でも同じ、そういうシステムを作って抜けるときはどんどん抜いていく。40銘柄やる孔明さんの友だちがおるが。孔明さんは忙しいから、せいぜい10銘柄そこそこや。でも最初がすごいよね。いつも孔明は3,000円から抜いていって、何十万に、日掛け、月掛け、心掛けと。これ抜いていくがやから。実績があるんや。最近は何か、香港に君臨してさ。次は、俺はニューヨークに行ってほしいなと。ほんだらほ、ドルを稼ぎな。

真田 孔明：

ニューヨークも今から株価を見始めています、いくつか。

北野会長：

これね、ドルで1ドルずつ抜けてみら。1円じゃないよ。1ドル抜いたって120倍あんがやから・・・ほうやろ？だから、俺は孫にお前ね、ヒロツパはあかんと。ヨーロッパはあかんと。だからアメリカへ来て、居合抜きの練習をせと。それでハワイへ今、落ち着いているわけ。孫が稼いだものは全部、俺の金やから。口座は俺のものやから。やっぱり増える借金、減る信用みたいなもんで。すごい、お前はすごいよと。孫は、俺は切れがいいかなと思っとるわけよ。金は俺のものや。俺、ジェントルマンやから。いつも一緒さ。

真田 孔明：

小中学校からそうやって・・・すごい。

メンバー：

本当にすごいですよね。

北野会長：

これこそ、まさしく教育やろ？

真田 孔明：

一番必要なのは何かと。

北野会長：

それはそうやる。あんたね、失礼やけど、前にも言ったけど、あんたらち汽車の線路みたいになさ、いい小学校、いい中学校、いい高校、いい大学、一流の会社、クビになったらじゃどうするがかい。シャープもソニーもパナソニックもクビになったら、お前、いい大学を出てやぞ。じゃ、生きられるか言うたら生きられんよ。あれはみんな、ほとんどクビになった人の何割かは、もうほとんど自殺するが。戦争でも、お前、朝鮮戦争で死んだの8,000人や。日本で死ぬ人は毎年3万人ぐらい死んだるんやから、不景気になるともっと死ぬんやから・・・そうやる？だから、データベースで物を考えると。戦争で8,000人やで。交通事故で死ぬ人が大体8,000人ほど・・・そうやる？

メンバー：

そうです。はい。

北野会長：

自殺する人は3万人やから。

メンバー：

3倍ですね。

北野会長：

そうやる？こういうデータベースを知っとると、あそうか、これは違うなっていうのがすぐわかる。接待は鷹にする・・・わかった？金も高に投げる。山崩れが起きたら全部、ザっと俺のところになしか来んやろ？山が崩れれば全部、俺のものや。こういう具合に物を考えておくと、投資っていうのはすごくいいもの。0.01%の世界で、10%あれば絶対、金は回っていくはずやから。孔明さんは俺よりも皆さんに理解できる言葉で言うてるんやけど、皆さんにはね、俺、思うんやけど理解し過ぎて、みんな、頭いいやろ？頭いいからなお吸収できんでないのかな。俺が今日、聞いたら、何となくわかる・・・みんなね。俺が言うとしても、孔明さんもはっきりわからんもんで、何かフワフワと・・・だから、俺は彼のすごいなと思うところは、俺が山東省で爆発が起こったいうに、その次の日、孔明は何もせんがやから。これはすごい男やなと思ったわ。俺は、山東省で爆発、日本でも爆発が起きたいうて言うたら、次の日、あれだからね。あれすごい。彼はそのぐらいすごい、俺はやつやなと思った。あこで自分は考えるみたいなこと書いてあったから、孔明はすごいなと思った。わからんところは手を出さんというタイプや。あれはすごいって、俺は必死に書いとる。山東省で爆発、孔明・・・

真田 孔明：

しかも、銘柄もT、SB、先物、売り。

北野会長：

俺がメールでやっとするのに、次の日「自分は中立でした」だから、このメンバーは絶対に言うても、聞いとっても誰も動かん。今日も一緒。今日も俺が例えば昨日、一生懸命言うた。例えば俺がパッとマレーシアに会社を作って、競売物件をパカパカと取ってけば絶対1,000万ずつ安いんやから。絶対に得のがやて・・・何もしないで1,000万ずつ儲かるわけやから・・・わかった？金が余ったらそういうところに投資をするべきやよっていう。言ってもね、せいぜい買ったのはACでも買ったあんただけ。あんたはたまたまその日に出会えたから、出会い頭にぶつかったみたいなもん。

メンバー：

そうです。

北野会長：

そうやる？後の人は聞いた。あそこにおる人もよく聞いた。あの人は絶対にACは買っていない。

メンバー：

持っていますけど、資金ができてから・・・

北野会長：

このね、頭のいい人のこの言い訳を聞いてってmira？本当にうまいよ。みんな、大学出やから。このね、言い訳はものすごくうまい。言い訳も本当に、いつ聞いても言い訳はすごいまい。誰に聞いてもうまい。ああだらこうだらへいだら、わけのわからんことを並べるんやから。とうとう回転が上がってきたよ。バンバン注げよ。水は少な目にの。酒は多めにしておいて。みんな飲まれ。これはここの社長がくれたもんやから。

メンバー：

おいしいですね。

北野会長：

みんな、ここへ来たら必ずこの店へ寄って。友だちがいたらどんどん繁栄すると、これが一番大事なこと。せっかくもらったボトルやから。ウンボ持って来て、各家庭にバケツを置かんでもトイレは流れるシステムを作れば、こっちのほうが遅れとるんやから。あのね、覚えといて。日本で自分の生まれてきてからどう変わったか、変化さえわかるとれば、後進国ではそれが一番大事なんやから・・・わかる？だから、日本では日本の会社は名刺の会社や。ルンペンっていうのは嫌やる？ニート、ニートは嫌やる？だから、一応会社は持っていますよみたいなことを言って、商売は後進国でやったほうが楽やるが。人件費が安いんやから。そのためにみんな企業は後進国へ降りてきとるわけよ。後進国へ来たら、例えばや。よく聞いといて。俺がもし会社を作るやろ。俺が飛んでも誰も知らんよ。田舎で俺が飛んだら、あれ、飛んだ、飛んだって言われるがやて。ここに来て、お前、会社を10個作って飛んだって、お前、せいぜい孔明さん

が知っとるぐらいやて。こうやって考えるとすごいわかりやすいやろ？ここ、これが一番。今、シンガポールにたくさん今、日本の銀行がいっぱい全部来る。シンガポールを全部。それはリー・クアンユーだったっけ？が昔、日本に習って・・・リー・クアンユーが言うたのは、銀座を見て、うちの国は銀座よりも綺麗な国を作りたいって。

メンバー：

そうなんですか？

北野会長：

そうやよ。あのときの改革をした資金は、総理大臣が誰やったか知らんけども、全部出しとるの金を、ODAか何かで出しとる。

メンバー：

日本の金なんですか。

北野会長：

全部、日本のお金さ。だから日本の銀行が来たいっていうても、すぐに受け入れるわけさ。上海のあの高速道路も一緒やろ？あんなもん、何兆円ね、あれODAでやっとるんだから・・・ODAで。田中角栄が握手をしたときに、とりあえず1兆ほどかみたいな。そのときの何やったっけ。

メンバー：

周恩来？

北野会長：

じゃなく・・・何とかいうそのときの国政を預かっとった人が、日本は何ていい国やと。パッと聞いただけで田中角栄が国交正常化してくれいう、パンと。田中角栄が国交正常化したわけや。ついこの間まで侵略しとった国を今度は、ごめんなさい、ごめんなさい。迷惑をかけたんやから1兆でも2兆でもあげるよ。こういう国なんやから。日本はね、政策はやり口が・・・まず、嫁はんから落とすようなやり口やから余り焦らん。おばはんがどれだけで売春で銭を払え、銭払え言うとっても、あら、そうみたいなことを言うとるんやて、日本の総理大臣は・・・あれだけおばちゃんが騒いで3億で手打ちやから。ロシアも一緒さ。ロシアはトルコとドッカンやとるわけ。後、誰も相手にせんが。

メンバー：

ロシア・・・ですか。

北野会長：

EUはもう「ロシア、お前なんてな、問題外」ガスなんてのは、どこでも出るんやからみたいなのを言えばさ、ロシアは油とガスで売とる。アメリカがそれをいじめとるわけ。ネットで出とるやろ？ガソリンが沖縄では85円ぐらいまで下がったわけよ。この間160円70円しとっ

たのが、どうして半額になる？だから、あれはロシアいじめさ。そういう具合に一番、今ね、シリアでも、イランでも、イラクでもね、一番油を売っとるやつはロシア。ロシア制裁のためにこう仕掛けとる。こういう具合に見ると経済っていうのは、だから日経新聞を皆さん読まんといかんよっていうのは、暴落だけじゃねえ。

メンバー：

日経新聞がおもしろくて、会長の話を聞いて、僕は新卒になったときに新卒の会社に日経新聞を読めとすっばく言われたのです。何がおもしろいんだろうと思って、ずっと読んでいて我慢して読んでいたんですけど、つまらなくて辞めちゃったんですよ。

北野会長：

ほとんどそう。俺も初めてね、言われて日経新聞を読んだ。頭ほらパーやろ？全然わからんが。あれ1面からわからんがやから最後までわからない。最初はね、一番最後だけ見て、日本で何が起こっとるかみたいなのを見とった。そのうちね、ずっと見とると、株を始めたら、あれも気になる・・・いや、簡単、悪い評判が出たらバンと売ると。悪い評判が出たらバンと売ると、いい評判は余り上がりがないんやと。すぐには反映せんから。でも、悪い話っていうのは、孔明、お前すごいよ。あれ詐欺師や！いうて言われてたら、孔明の株っちゃバンと落ちるやろ？これを狙ったほうがいいっていうのは、だから俺はもともとベアやった。ベアハンドやから。

真田 孔明：

そろそろじゃ。

北野会長：

ホント。行きますよ。

メンバー：

これもったいない。

北野会長：

明日また俺が来て飲むから。俺かなりまだここにおるから。

真田 孔明：

これキープでいいですかね。

店長：

もちろん。キープしておきます。

北野会長：

もらったものをキープするこの勇気。勇気、行動、実行力。

真田 孔明：

夜、来ます。

北野会長：

大丈夫、斜め向かいに俺、住んでっから。同じ部屋におるから大丈夫や。でも、明日になったらまた忘れて払わんかもしれんから。何でお前、そこ落ちないの。カードが・・・

店長：

通信エラーみたいな、壊れているみたいな。

北野会長：

俺の頭と一緒にや、壊れとるや。この間、おあいそできたのに何で今日はできないの。俺は本当はね、口座に金ないから、落ちないかもしれんけども、明日は今、俺が払わなくても孔明さんがちゃんと 笑。これスライドな、俺じゃないよ、孔明さんが払わなかっただけやから。つけたのは俺やけど。払わなかったのは孔明さん、わかった？ ネットに書いといてよ 笑 きちんと。俺が借金したけど、孔明さんが払う言った、本当に払わなかったのは孔明さん・・・わかった？ 銀行にも同じことを言えば一緒やろ？ 借りたのは会社。借りたのは会社のがやから。別に俺が・・・

メンバー：

会社が返さなかったんですもんね。いくら連帯保証しても・・・

北野会長：

連帯保証はない、絶対にしないから。そういう古いやり方を・・・

メンバー：

レベルが違った・・・済みません。なるほど。会社が返さなかった、それだけですな。

サッチェル：

僕らも外していかないと駄目ですね。

メンバー：

そうですね。ちょっと創業融資だと稲なくて・・・そうですね。

サッチェル：

法律で外していい。

メンバー：

そうですね。そうですね。

サッチェル：

その方向でいかなきゃ。

北野会長：

殿といかんやろ？

真田 孔明：

はい、そうですね。

北野会長：

行きましょう。「帰ろうかな～帰るのよそうかな～」